

ISSN 0287-9778

京都産業大学図書館年報

1999 (第18号)

京都産業大学図書館

京都産業大学図書館年報 1999 (第18号)

目次

まえがき (図書館長 溝部 英章)	1
図書館組織	3
I 図書館委員会	
1. 平成10年度図書館委員会委員	4
2. 平成10年度図書館委員会報告	5
3. 平成10年度図書館資料費予算	11
4. 平成10年度図書館資料費決算報告	12
II 図書館資料選択委員会	
1. 平成10年度図書館資料選択委員会委員	13
2. 平成10年度図書館資料選択委員会報告	14
III 業務報告	
1. 管理課	15
2. 目録情報課	17
3. 運用課	19
4. 情報サービス課	22
IV 業務日誌	
1. 館内行事	25
2. 館外研修・出張・外勤	32
3. 館内研修	34
4. 見学者	34
V 基礎資料・統計	
1. サービス対象者・図書館職員	35
2. 施設・設備	36
3. 蔵書・整理統計	39
4. 利用統計	45
5. 図書館利用の推移	53
VI 京都産業大学図書館利用規程	56
図書館職員名簿	62

ま え が き

図書館長 溝部 英章

『図書館年報』第18号をお届けします。京都産業大学図書館は毎年前年度の歩みを真摯に反省し、こうした年報の形にまとめて刊行しております。自己点検・自己評価の動きが始まるはるか前から、常に自己反省を怠らないという姿勢を明確にしていまいりました。本年もまた全国の図書館関係者の方々、本学の教職員の方々の忌憚のないご批判を仰ぎたく存じます。

図書館は図書館委員会を審議機関として運営されております。各学部・センター・研究所から選出された委員が一堂に会し、図書館資料費の予算・決算をはじめとする重要な諸議題を慎重審議の上決定いたします。決定事項は翌月の所属各教授会に報告されます。

平成10年度までは図書館委員会とは別に図書館資料選択委員会も開かれておりましたが、メンバーがほぼ重複する上、これまでも図書館委員会に引き続いて開かれるのが通例でしたので、平成11年度からは資料選択委員会で扱われてきた議題も図書館委員会の方で審議することに致しました。規則を改正して、図書館資料選択委員会を廃止しましたことをここに記しておきます。

また平成11年度からは図書館委員会での決定事項は、図書館長から部局長会にも報告されることになりました。本学における教学の中核である部局長会に報告されることにより、図書館の活動に対する関心がいっそう高まることを期待するものであります。

さて平成10年度をふりかえりましてまず報告すべきことは、本学が平成9年度より就任しておりました私立大学図書館協会の会長校の職務を無事に勤めあげたことであります。夏の総会・研究大会は7月下旬に神奈川大学で開催されましたが、開催校や役員校の絶大なるご尽力を得て、多数の参加者にご好評をいただく立派な大会にすることができました。今春次期会長校である明治大学図書館にバトンを引き継ぎましたときには、過去2年間の緊張を思い起こして感慨無量でありました。本学は今後2年間引き続き監事の職にありますが、私立大学図書館全体の発展のために応分の協力を惜しまない所存であります。

学内におきましては、本学を社会に向かって開かれたオープンなシステムにするという新田学長のご方針の下、一人一人の発展に役立つ図書館をモットーとして運営に努めました。基本的方向につきましては、『大学報』242号(平成10年7月10日発行)に「図書館新時代へ：一人ひとりの自立のために」と題して掲載された拙稿をご覧いただきたいと存じます。

オープン化の第一歩が目録情報の本学図書館ホームページへの掲載でした。これは平成10年度より図書館独自のコンピューター・システムを持つことになりましたので可能

になりました。全国、いや世界中どこからでも本学がいかなる書籍等を収蔵しているかを知ることができるようになりました。以前より公開されている学術情報センター総合目録に本学所蔵データを登録しておりましたが、今後は誰でもが容易に本学の図書目録等にアクセスすることができるようになったのです。

オープン化とは、さらに利用しようとするすべての方が本学図書館を使いこなせるようにすることを含まなければなりません。今や図書館はたんに収蔵された書籍や雑誌を読むだけのスペースではありません。本学が作成している『文献・情報の探し方』をご一読いただきたいと存じます。図書館とは今や情報探索拠点であります。それだけに利用者の側の情報操作能力が問題となります。図書館はライブラリーガイダンスをさらに充実させる一方、レファレンス・サービスのいっそうの質的向上を心がけております。

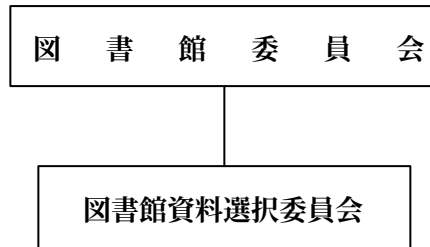
図書館利用者の範囲も拡張を続けております。平成11年度からは本学が大学コンソーシアム京都の単位互換事業及びシティーカレッジ事業に参加するのに伴い、本学で学ぶ他大学学生並びに一般社会人にも閲覧と貸出等の利用権が与えられました。図書館は利用者の範囲をさらに拡張するために、その適切な基準は何かについて現在検討中であります。すでに本学には新生入生として入学してくる通常の学生以外に、編入、留学、社会人、単位互換、課外学習プログラム履修、生涯学習など多種多様な学生がおります。大学院生にも他大学出身者が増えました。研究者レベルでは客員研究員等の形で本学に滞在する方々が増えております。図書館としましては、すべての利用者の研究・教育上の必要に応じるべく、今後ともその能力の向上に努めてまいります。

ただ書籍の収蔵という点に關しまして、現在の地下書庫がすでに限界に達しておりますことは率直に認めなければなりません。そのため関係各方面にお願いをして、地下書庫に拡張工事を施していただくべく準備を重ねております。図書館としては一日も早い着工を願う次第です。当面は学内外の数カ所に設けられている保存書庫を活用する以外ありません。平成10年度も旧津ノ国職員寮を図書館のために工面していただき、あらたに保存書庫としました。利用申請があれば翌朝にはカウンターにそろえるという対応体制をとる一方、多少のご不便は免れない以上、利用者の方々に事情に鑑みたご理解をお願いする次第であります。

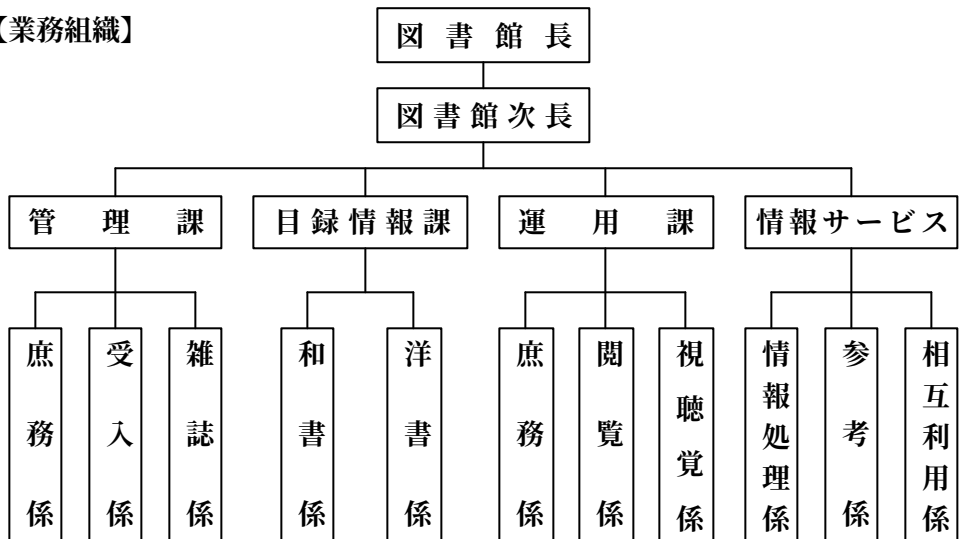
私立大学は冬の時代を迎えたといわれます。いかに生き延びるのが最大の課題だといわれます。しかし建学の理想に省みると、京都産業大学はたんに経営上の収支をそろえて存立を続けられればいいというものではありません。良い大学として理想を體現したいと願います。図書館はそのための中枢でなければならない。こう自戒する次第です。

図書館組織

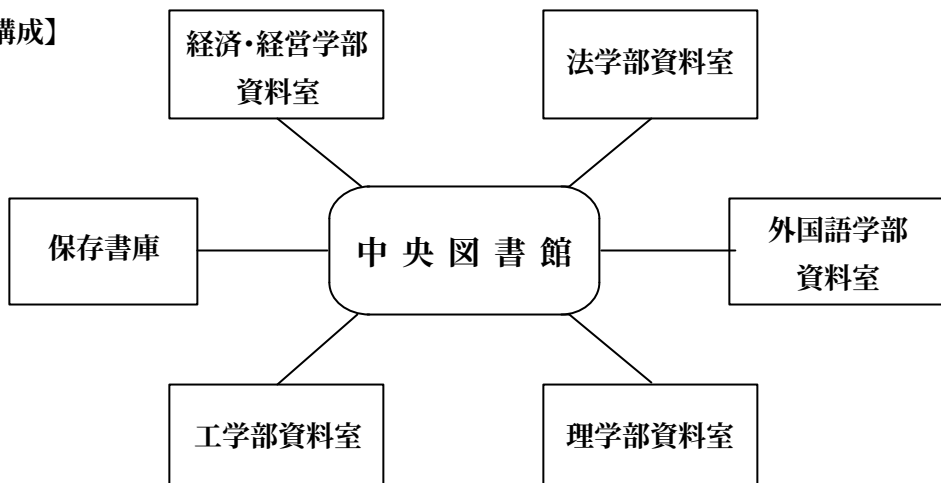
【審議組織】



【業務組織】



【構成】



I 図書館委員会

1. 平成10年度図書館委員会委員

(1) 図書館委員

所 属	職 名	氏 名
図 書 館	館 長	溝 部 英 章
経 済 学 部	教 授	片 岡 佑 作
経 営 学 部	教 授	佐々木 利廣
法 学 部	助 教 授	高 嶮 英 弘
外 国 語 学 部	助 教 授	河 原 地 英 武
理 学 部	教 授	勝 良 昌 司
工 学 部	助 教 授	黒 坂 光
一般教育研究センター	教 授	潟 岡 孝 昭
英語教育研究センター	教 授	水 田 和 生
外国語教育研究センター	講 師	池 葉 須 仁 彦
体育教育研究センター	教 授	千 賀 康 利
計 算 機 科 学 研 究 所	教 授	筒 井 稔
世 界 問 題 研 究 所	教 授	間 宮 茂 樹
国 際 言 語 科 学 研 究 所	教 授	池 田 哲 郎
国 土 利 用 開 発 研 究 所	教 授	久 力 文 夫
現 代 体 育 研 究 所	教 授	長 谷 川 豪 志
日 本 文 化 研 究 所	教 授	村 上 一 三
図 書 館	次 長	村 橋 元 雄

(2) 幹事

所 属	職 名	氏 名
管 理 課	課 長	小 寺 源 吾
目 録 情 報 課	課 長	赤 瀬 美 穂
運 用 課	課 長	大 山 襄
情 報 サ ー ビ ス 課	課 長	横 山 桂

2. 平成10年度図書館委員会報告

第1回 日 時 平成10年4月22日(水) 午後1時15分～午後1時55分
 場 所 図書館ホール
 出席者 図書館長ほか図書館委員17名、幹事4名

議 事

1. 辞令交付

議事に先立ち、平成10年4月1日付けで図書館長に就任した法学部溝部英章教授が今年度から新たに図書館委員に委嘱された経済学部片岡佑作教授ほか10名の図書館委員に対して、学長代理として辞令を交付した。任期は2年である。

次に、溝部館長が図書館長就任の挨拶をおこない、本学図書館の一層の充実を図るために、委員各位の理解と協力を要請した。また、図書館資料の収集にあたっては、年間を通じて計画的に、バランスよく行うよう依頼した。

続いて、出席者全員が自己紹介をした。

2. 平成9年度図書館資料費決算報告について

平成9年度図書館資料費決算報告をおこない、承認を受けた。図書館資料費のうち、製本費を除いた資料費の予算額は307,606,366円。これに対して、使用額は289,975,471円、執行率は94.3%であった。

3. 平成10年度図書館資料費予算(案)について

平成10年度図書館資料費予算(案)の概要を説明し、原案のとおり承認された。とくに前年度と大きな変更はない。

4. 平成10年度私大助成について

本年度は、外国語教育研究センター、体育教育研究センター及び現代体育研究所からの申請となっている。外国語教育研究センターから次の資料の応募があったのでこれを申請することを報告、承認を受けた。

『国立国会図書館所蔵明治期刊行図書マイクロ版集成 哲学』666リール

5. 平成11年度研究用新規購読雑誌等の申請について

次年度の研究用新規購読・購読中止雑誌等の選択を依頼するとともに、所定の期日までに申請書を提出するよう依頼した。

6. その他

(1) 平成10年度年間計画について

本年度の図書館委員会・図書館資料選択委員会の開催予定日及び議題を説明した。

(2) 平成10年度図書館資料費配分調査票について

図書館資料費予算にもとづき、各所属のセクション別・個人別資料費配分調査票を平成10年5月22日(金)までに図書館管理課まで提出するよう依頼した。

(3) 図書館資料の購入申込みについて

図書購入の申込書の提出期限を厳守するよう協力依頼をおこなった。

(4) 大学院生用資料費の使用について

大学院生用資料費について、有効に利用するよう各所属で周知徹底いただくよう依頼した。

(5) 雑誌の製本について

本年度の雑誌製本の予定を説明し、協力を要請した。

(6) コンピュータソフトの取扱いについて

コンピュータソフトは、情報を処理する道具であって、情報を記録・伝達する図書館資料にはなじまないことから、図書館資料費でコンピュータソフトを購入しないことを再確認した。(平成6年度第1回図書館委員会で合意済み)

(7) 電子ブックプレーヤーの取扱いについて

最近、語学辞書などの専用ソフトを搭載した電子ブックプレーヤーが市販されている。その名称からも明らかなように、プレーヤー(機器)として取扱うものであって図書館資料費では購入しないことを確認した。

(8) 図書館資料の海外購入について

これについては、「図書館資料の海外購入に関する取扱要項」にもとづいて実施することを説明し、理解を求めた。また、資料の整理にあたっては、原則として受入順に整理する方針であることを確認した。

第2回	日 時	平成10年6月24日(水)午後1時15分～午後1時30分
	場 所	図書館会議室
	出席者	図書館長ほか図書館委員16名、幹事2名

議 事

1. 全学図書を選択について

本年度の全学図書費配分案を提案し、承認された。続いて基本図書及び貴重図書の申請手続きを説明した。

2. 図書館資料費使用状況について

平成10年6月19日現在の使用状況を報告した。

3. その他

最近、館内で盗難事故が頻発していることに関して、委員より質問があった。事故の発生状況及び図書館側の対策について説明し、貴重品ロッカーの設置を検討中であることに言及した。

第3回	日 時	平成10年10月28日(水)午後1時10分～午後2時00分
	場 所	図書館ホール
	出席者	図書館長ほか図書館委員15名、幹事4名

議 事

1. 全学図書(基本図書)の購入について

本年度は基本図書として11所属から25点の申請があった。しかし、現時点では本年度の私立大学研究設備整備計画(私大助成)の採択状況が不明のため、基本図

書費の予算額を確定できない状況である。しかし、申請のとおり採択された場合、または、不採択になった場合の差額が264,200円にすぎないことから、1所属の採択金額の上限を約125万円とし、所属間のバランスを図るとともに、申請書の優先順位を尊重して15点を購入することとなった。基本図書の残額は、貴重図書費にまわすことで、全学図書(基本図書)について承認された。

2. 図書館資料費使用状況について

平成10年10月20日現在の使用状況を報告した。

3. その他

(1) 平成11年度研究用新規購読・中止雑誌等の申請状況について

次年度の研究用新規購読・中止雑誌の申請状況を報告した。なかでも、理学部・工学部の外国雑誌の購読料は40%以上の値上がり(誌代が10%以上、円安で30%以上)となり、両所属で約80誌・2千万円弱の購読中止が余儀なくされた。委員からは、教育・研究への支障、外国為替レートの算定法、割安な電子ジャーナルへの切り替えなどの発言が相次いぎ、影響の深刻さを示している。

(2) 平成11年度私立大学研究設備整備計画(私大助成)について

次年度は、ローテーションにより法学部及び世界問題研究所の選択による資料を申請することになっているので、両所属に申請資料の選択を開始するよう依頼した。

(3) 図書館資料の購入申込みについて

今年度の図書館資料購入申込期限日などを確認した。

(4) 平成10年度ライブラリー・ガイダンスの実施状況について

今年度は、新入生、ゼミガイダンスともに、昨年度より実施回数が少なかった。その結果、新入生ガイダンスの受講率は、昨年度は70%だったのに対して、今年度は62%にとどまった。

今年度は英語教育研究センターと外国語学部英米語学科の教員のご協力をいただいた。来年度は、外国語教育研究センターと外国語学部英米語学科以外の先生方のご協力を仰ぐこととなる。

(5) 図書館新システムへの移行について

図書館新システムへの移行作業の進捗状況と今後の予定について報告、理解と協力を求めた。

(6) 次回の図書館委員会開催予定の変更について

次回は、12月2日(水)午後3時開催に変更。

第4回 日 時 平成10年12月2日(水)午後3時5分～午後3時45分
 場 所 図書館ホール
 出席者 図書館長ほか図書館委員14名、幹事4名

議 事

1. 全学図書(貴重図書)の購入について

平成10年度私立大学研究設備整備計画(私大助成)に申請した資料の採択内定通知があったことから、今年度の全学図書費配分が私大助成3,264,000円、基本図書費9,731,205円、貴重図書費4,334,692円となった。

前回の委員会で、基本図書15点の購入とその残額を貴重図書費に回すことを決定している。今年度は貴重図書として4点の申請があった。4点とも、「京都産業大学図書館貴重図書取扱内規」に規定する貴重図書に該当することから、すべて購入することとなった。

2. 図書館資料費使用状況について

平成10年11月25日現在の使用状況を報告した。

第4次学生用基本図書選択作業部会で選書された資料約9,500冊の購入状況について報告するとともに、これらを速やかに学生に提供するために、調整費800万円をその購入に当てることの提案が館長からあり、了承された。

3. その他

(1) 図書館委員会と図書館資料選択委員会との統合について

図書館には、現在図書館委員会と図書館資料選択委員会が設置されている。後者は、図書館資料の選択及び蔵書構成の適正を期するために、これに係る諸事項を審議することになっている。しかしながら、図書館資料選択委員会設置以降の継続的な審議事項のひとつは、「視聴覚資料の選択」であり、中央図書館開館以降の充実ぶりをみると、すでに初期の目的を達成したと考えられること、本委員会の重要な課題である「学生用基本図書の選択」については、むしろ図書館委員会において審議すべきであること、図書館事務組織の充実に伴い、本委員会に出席する図書館職員が9名となり、業務運営に支障をきたすおそれがあること、などの理由により、両委員会の統合を提案し、承認された。

なお、これに伴う関係規定の改正案については、次回に提案する予定である。

(2) 津ノ国書庫への資料移動について

図書館では、当面、地下書庫の拡張工事が望めないことから、緊急避難的に津ノ国職員住宅の跡地を、書庫として利用する起案が了承されたことから、資料の移動計画を提案し、了承を受けた。

津ノ国書庫の資料収容能力は約11万冊。津ノ国書庫への移動資料は、保存書庫へ移動済みの重複普通図書・参考図書の約2万冊及び海外グラフ雑誌のバックナンバー、中央図書館の地下書庫の和書・洋書のうちから重複・旧版を中心に2～3万冊。

移動期間は平成11年3月になる見込み。資料の運用は請求のあった翌日の朝10

時までに取り置き、利用のあったものは地下書庫に所在を変更する。移動資料は目録の所在データを変更する。

(3) 平成11年度研究用新規購読・中止雑誌等の申請状況について

次年度の研究用新規購読・中止雑誌等の最終の申請状況を報告した。

(4) その他

新入生ライブラリー・ガイダンスに関して、その実施方法・時期について再検討すべきではないかとする意見が委員から提案された。しかし、志学会から新入生全員にガイダンスを実施してほしいとの要望があること、現時点では、語学クラスで実施するのが最も適切であることなどから、現状のままとすることとなった。

第5回	日 時	平成11年1月27日(水)午後1時10分～午後2時15分
	場 所	図書館ホール
	出席者	図書館長ほか図書館委員13名、幹事3名

議 事

1. 次年度図書館資料費予算編成について

平成10年10月31日現在の学生数、専任教員数及び兼務教員数にもとづき、消費税5%とした次年度資料費予算案を提示した。

2. 図書館諸規程の改正について

(1) 図書館資料選択委員会の廃止と図書館委員会への統合

本件については、前回の委員会で提案され、承認を受けたため、関係諸規程を改正するための提案である。

(2) 図書館利用規程の改正

平成11年度より、財団法人大学コンソーシアム京都が実施する単位互換事業及びシティーカレッジ事業に本学が参加することに伴い、単位互換履修生及びシティーカレッジ会員(科目等履修生)に図書館サービス(閲覧・貸出・複写・レファレンス等)を提供するために「京都産業大学図書館利用規程」を改正するものである。

3. 図書館資料費使用状況について

平成11年1月20日現在の使用状況を報告した。

4. その他

(1) 津ノ国書庫への資料移動について

前回報告された津ノ国書庫への資料移動について、その後の状況が報告された。

収容能力11万冊のところ、今回は約4.4万冊を2月下旬に移動予定である。地下書庫増設など根本的な対策がなければ、平成15年までには倉庫業者に保管委託という状況を迎えざるを得なくなる。また、館長からは移動作業中にご不便をおかけすることに対し、理解と協力の要請があった。

(2) 学術情報センターの電子図書館サービスについて

学術情報センターが平成11年1月から開始したNACSIS-ELS(電子図書館サービ

ス)について、その概要と利用申請の方法などを説明・広報した。

(3) 次年度年間計画について

次年度年間計画(案)を提案し、承認を受けた。

(4) 図書館委員会委員の任期満了について

館長から、平成11年3月31日をもって工学部黒坂光助教授ほか3名の委員が任期満了となることに對し、在任中の図書館運営にたいするご尽力に感謝の意を表明した。

なお、これらの所属における次期委員の推薦については、2月早々に所属に対して文書依頼する予定である。

3. 平成10年度図書館資料費予算

(円)

費 目		予 算	実質配当額		
資料費	教育用	学生用	64,136,000	64,136,000	
		大学院生用	5,810,000	5,810,000	
		指定図書	2,500,000	2,500,000	
		資格試験資料	1,500,000	1,500,000	
		教育用資料費	73,946,000	73,946,000	
	研究用	経済学部	16,394,030	16,394,030	
		経営学部	14,550,862	14,550,862	
		法学部	16,250,534	16,250,534	
		外国語学部	27,184,207	27,184,207	
		理学部	41,282,075	41,282,075	
		工学部	19,170,858	19,170,858	
		一般教育研究センター	6,644,296	6,644,296	
		英語教育研究センター	6,830,571	6,830,571	
		外国語教育研究センター	8,741,132	8,741,132	
		体育教育研究センター	4,200,468	4,200,468	
		計算機科学研究所	2,497,470	2,497,470	
		世界問題研究所	2,936,977	2,936,977	
		国際言語科学研究所	2,519,571	2,519,571	
		国土利用開発研究所	2,622,303	2,622,303	
		現代体育研究所	3,758,673	3,758,673	
		日本文化研究所	3,095,375	3,095,375	
		語学ラボラトリーセンター	3,074,251	3,074,251	
		保健管理センター	713,592	713,592	
		教職課程講座センター	2,446,601	2,446,601	
		同和教育資料室	1,297,800	1,297,800	
		図書館	2,201,719	2,201,719	
		研究用資料費	188,413,365	188,413,365	
		特別購入	全学図書	17,330,097	17,330,097
			参考図書	8,938,452	8,938,452
	視聴覚資料		6,364,834	6,364,834	
	マイクロ資料		3,058,252	3,058,252	
	特別購入資料費		35,691,635	35,691,635	
	調整費		9,555,366	9,555,366	
	資料費		307,606,366	307,606,366	
製本費		8,526,000	8,518,038		
図書館資料費		316,132,366	316,124,404		

4. 平成10年度図書館資料費決算報告

(円)

費 目		配 当 額	使 用 額	残 額	
資料費	教 育 用	学生用	64,136,000	64,195,847	△59,847
		大学院生用	5,810,000	2,098,350	3,711,650
		指定図書	2,500,000	1,548,124	951,876
		資格試験資料	1,500,000	438,469	1,061,531
		教育用資料費	73,946,000	68,280,790	5,665,210
	研 究 用	経済学部	16,394,030	16,155,284	238,746
		経営学部	14,550,862	14,546,938	3,924
		法学部	16,250,534	16,253,966	△3,432
		外国語学部	27,184,207	27,184,203	4
		理学部	41,282,075	41,273,707	8,368
		工学部	19,170,858	19,104,883	65,975
		一般教育研究センター	6,644,296	6,637,342	6,954
		英語教育研究センター	6,830,571	5,605,535	1,225,036
		外国語教育研究センター	8,741,132	8,729,257	11,875
		体育教育研究センター	4,200,468	4,192,876	7,592
		計算機科学研究所	2,497,470	2,063,110	434,360
		世界問題研究所	2,936,977	2,347,176	589,801
		国際言語科学研究所	2,519,571	2,519,520	51
		国土利用開発研究所	2,622,303	2,485,513	136,790
		現代体育研究所	3,758,673	3,439,511	319,162
		日本文化研究所	3,095,375	3,089,096	6,279
		語学ラボラトリーセンター	3,074,251	3,074,167	84
		保健管理センター	713,592	509,645	203,947
		教職課程講座センター	2,446,601	2,052,244	394,357
		同和教育資料室	1,297,800	1,297,800	0
		図書館	2,201,719	2,175,211	26,508
		研究用資料費	188,413,365	184,736,984	3,676,381
		特 別 購 入	全学図書	26,456,097	23,565,884
	参考図書		8,938,452	8,659,276	279,176
	視聴覚資料		6,364,834	4,435,568	1,929,266
	マイクロ資料		3,058,252	2,447,479	610,773
	特別購入資料費		44,817,635	39,108,207	5,709,428
	調整費		9,555,366	9,149,025	406,341
	資料費		316,732,366	301,275,006	15,457,360
製本費		8,518,038	8,521,485	△3,447	
図書館資料費		325,250,404	309,796,491	15,453,913	

Ⅱ 図書館資料選択委員会

1. 平成10年度図書館資料選択委員会委員

所 属	職 名	氏 名
図 書 館	館 長	溝 部 英 章
経 済 学 部	教 授	片 岡 佑 作
経 営 学 部	教 授	佐々木 利廣
法 学 部	助 教 授	高 畠 英 弘
外 国 語 学 部	助 教 授	河 原 地 英 武
理 学 部	教 授	勝 良 昌 司
工 学 部	助 教 授	黒 坂 光
一般教育研究センター	教 授	潟 岡 孝 昭
英語教育研究センター	教 授	水 田 和 生
外国語教育研究センター	講 師	池 葉 須 仁 彦
体育教育研究センター	教 授	千 賀 康 利
図 書 館	次 長	村 橋 元 雄
管 理 課	課 長	小 寺 源 吾
〃	課長補佐	石 田 浩
目 録 情 報 課	課 長	赤 瀬 美 穂
〃	課長補佐	京 極 宣 夫
運 用 課	課 長	大 山 襄
情 報 サ ー ビ ス 課	課 長	横 山 桂
〃	課長補佐	宝 田 育 久
〃	課長補佐	澤 熊 智 美

2. 平成10年度図書館資料選択委員会報告

第1回 日 時 平成10年6月24日(水) 午後1時30分～午後1時45分
 場 所 図書館ホール
 出席者 図書館長ほか15名

議 事

1. 第4次学生用基本図書選択作業報告

平成9年7月から選書作業に入った、第4次学生用基本図書選択作業の進捗状況について、報告があった。56分野の64名の教員により32,000冊余が選書され、重複調査により約3割に当たる9,400冊余が書店に発注された。金額にして7,097万円となった。

購入計画について、今年度の学生用予算から2,000万円が当てられ、残額については次年度以降に持ち越すこととなった。

2. 視聴覚予算執行状況報告

平成10年6月22日現在での、視聴覚予算執行状況が報告された。全体で27.9%の執行率となり、最も執行率の高いのは学生用で45.4%となっている。

第2回 日 時 平成10年12月2日(水) 午後4時00分～午後4時20分
 場 所 図書館ホール
 出席者 図書館長ほか19名

議 事

1. 海外新聞のCD-ROM版の継続購入について

昨年度第3回委員会で購入を採択した「人民日報 CD-ROM版1946—1996」につき、以降も継続購入してよいか、図書館から提案があった。委員からとくに異議もなく、継続購入が承認された。

2. 第4次学生用基本図書選択作業による選択資料の受入状況

昨年度の第4次学生用基本図書選択作業により選書された図書の受入状況が報告された。

発注額	7,097万円
入手不可	580万円
現在受入額	2,269万円
今年度受入予定	800万円
次年度繰越	3,448万円 受入予定額の52.9%となる。

3. 視聴覚予算執行状況報告

平成10年度視聴覚予算執行状況が報告された。全体で50%の執行率。そのうち学生用が88.8%で執行率が一番高く、教材用が26%と一番低い執行率となっている。

全体で残額が324万円あり、備え付けるにふさわしいソフトがあれば視聴覚係にご推薦いただきたいとの、図書館側からの依頼があった。

Ⅲ 業 務 報 告

1. 管理課

(1) 庶務業務

今年度も、前年度に引き続き、私立大学図書館協会会長校事務局としての諸種の作業に多くの時間を費やした。しかし、今年度で任期が終了し、次期会長校の明治大学に事務・繰越金等の引継ぎも完了した。今後2年間は同協会の監事校としての任務は残るものの、事務の負担ははるかに軽減される。

(2) 受入業務

① 平成10年度図書等の受入

今年度の予算額に対し、教育用、研究用、特別購入等総数で、和書19,164冊、洋書11,702冊の計30,866冊の登録、受入を行った。執行率は95.1%(昨年度94.4%)で、ほぼ予算どおりの決算であった。

② 大学院生用資料費

大学院生の研究活動の充実と活性化のための図書等の受入を行った。今後ますます大学院生の増加が見込まれるため、指導教授の意見や大学院生の要望も取り入れ、資料費の有効活用を図っていきたい。

③ 私立大学研究設備整備計画(私大助成)4件採択

今年度は、私立大学研究設備整備計画(私大助成)に外国語教育研究センターからの応募になる国立国会図書館所蔵『明治期刊行図書マイクロ版集成(哲学の部)』1点、及び第3次補正予算計上による追加申請分として外国語学部からGiambattista Vicoの『Principj di scienza nuova』1点、経済学部から『マルサス自筆書簡』1点、日本文化研究所から『加茂和歌類聚』1点、の計4点を文部省に申請した。その結果、申請どおり4点とも採択された。

本学図書館にとって、このような高額かつ貴重な資料が同一年度に4点も採択されたことははじめてのことで、図書館資料収集という観点からすると、今年度はきわめて充実した年度となった。

なお、本年度採択された資料の購入価格及び補助額は次のとおりである。

a. 国立国会図書館所蔵『明治期刊行図書マイクロ版集成(哲学の部)』

購入価格 9,790,200 円、 補助額 6,526,000 円

b. 『マルサス自筆書簡』

購入価格 1,200,000 円、 補助額 800,000 円

c. Giambattista Vico の『Principj di scienza nuova』

購入価格 1,200,000 円、 補助額 800,000 円

d. 『加茂和歌類聚』

購入価格 1,500,000 円、 補助額 1,000,000 円

購入価格合計 13,690,200 円、 補助額合計 9,126,000 円

(3) 雑誌業務

1999年外国雑誌の購読料は、雑誌代金の恒常的な10%の値上がりと前年比30%以上の円安のため、昨年から40%以上の値上り状況であった。雑誌代金値上がりの原因は、価格高騰と発行部数減少の悪循環に加えて、オンラインジャーナルへの投資負担がある。

大学の予算ゼロシーリングの方針のため、この3年間に理学部・工学部を中心とした購読雑誌の中止を繰り返している。今年度の中止雑誌は85誌、1,885万円であり、その内で両学部が75誌、1,657万円を占めている。

今後は雑誌の論文情報の提供形態が、冊子体の購入、保存からオンラインジャーナルやドキュメントデリバリーに移行していくであろう。しかし、現在のオンラインジャーナルでは、価格メリットもなく、またオンライン版だけに移行する環境にはなっていない。当面は、目次情報やドキュメントデリバリーなどの外部情報へのアクセスと相互利用をより利用しやすい環境にする必要がある。

(4) 組織改革

今年度より、和書整理係、洋書整理係が目録情報課となって、和書係、洋書係となった。これで図書館は、4課11系の態勢となった。

(5) 新システムLinksⅡによる業務開始

LinksⅡによる稼動は、開発者のカスタマイズ作業とデータ移行等の遅れにより、年度途中の7月より一部の発注・受入業務を開始した。その後カスタマイズされたプログラムが納品されることによって、基本的な帳票、支払、継続図書、予算管理、製本、年次更新、原簿関係の帳票などが処理できるようになった。しかし、各処理は、プログラムのバグやデータ移行のミスのため、不完全な作業といえる状態であった。

これらの原因は、稼動前にテストデータを対象として当館の仕様どおりのカスタマイズされたシステムの検証ができなかったことによる。新システムの正常な稼動が遅れることによって、図書館利用者、書店などに多大の迷惑をかけることになった。次年度以降も引き続き、不備なシステムの改善に努め、早急に前システムを上回るものにする必要がある。

2. 目録情報課

(1) 目録情報課の新設と態勢

平成10年4月に、図書館組織の変更があった。これまでの図書管理課から和・洋整理係が分離して目録情報課が新設され、和書係、洋書係の2係となった。課員は専任職員6名、嘱託職員2名、臨時職員3名の合計11名である。この態勢でスタートし、今年度の最重要課題である新図書館システムの移行作業に臨んだ。

なお、10月の人事異動で専任職員1名が減員となったが、人員補充はされないままであった。

(2) 新図書館システムへの移行

① 目録システム

当初予定していた稼動時期には遅れたが、5月の連休明けにJIP(日本電子計算株式会社)よりシステムの納品があった。5月中旬より現行システムを停止させ2週間かけて移行作業が行われた。5月末に移行が完了し、6月初旬よりテスト稼動、9月より本格稼動となった。平成11年3月中旬には1週間システムを停止させ、バージョンアップ作業が行われた。

テスト稼動開始後の6月中旬にJIPから新システムの講習を受けた。しかし、細部については実際にやってみなければわからない部分が多く、操作マニュアルもなかったため、係員の試行錯誤はこの年度中続いた。また、システムのチェック作業や不具合箇所について修正要求のための検討会議などに非常に多くの時間を費やした。

② オンライン目録(EZ-Cat)

パッケージ標準のものは検索速度が極端に遅く機能的にも図書館側の要求を満たさないため、5月末より日商岩井インフォコムシステムズ(株)も加わり、検索エンジン“Open text”によるEZ-Catを新たに構築した。この結果、9月下旬の後期授業開講時に間に合うようWeb上に暫定版オンライン目録を公開することができた。

この後も度々の機能強化と修正を重ねたEZ-Catは、多様な検索が可能であり、検索速度も速く使いやすい目録に仕上がっている。

ただ、今年度はデータ更新にかんする不具合部分が多々あり、利用者に迷惑をかけた。細部については今後も継続して機能強化・修正を行う予定である。

(3) 小川環樹文庫の整理

平成8年度に受け入れ、9年度より整理を開始した小川環樹文庫については、すでに和書・洋書の整理を終えており、今年度も引き続き漢籍整理に熟達した嘱託職員1名をあて、中国語図書・漢籍の整理に力を注いだ。

10月には「第2回小川文庫整理委員会」を開催し、整理の進捗状況と今後の課題について報告した。最大の問題点は、現在の進捗状況からみて、当初予定した

整理期間を大幅に超過することが確実になり、整理担当者の継続採用が可能かどうかということであった。漢籍整理には専門知識が必要であり、また、整理作業が終了した時点で、冊子体目録の編纂・刊行を計画しており、この期間を含めての担当者について委員会で善後策を検討した。

12月には私立大学等経常費補助金特別補助「特色ある教育研究の推進」の交付が内定し、今年度は補修費にあてた。

(4) 今後の課題

下記の2点については、1999年3月発行の『京都産業大学の現状と課題 1998－自己点検・評価報告』にも検討課題として挙げた。

① 学術情報センター総合目録未登録図書の遡及入力

新システムへの移行作業がほぼ一段落したところで再び大きな問題となったのが、学術情報センター総合目録への登録済みデータと本学作成の目録データとの不整合部分である。1990年の学情目録システム参加以降の登録件数は現在約21万冊に及んでいるが、それ以前の図書約37万冊が未登録となっている。遡及入力については以前から懸案事項となっていたが、今回の新システムの構築により高度な検索システムができたにもかかわらず、学情参加後とそれ以前のデータが混在した現状では、記述内容の精粗や件名の有無、入力ルールの違いなどにより検索結果が不完全になり、利用者に不便を強めている。

今後の計画としては、少しでもデータの齟齬をなくすための第一段階として、未登録データのうち登録番号の降順にISBNで検索し、学術情報センター総合目録にヒットしたものから優先的に登録後、学内目録に取り込む方法を考えている。このための経費を次年度予算として申請したが、残念ながら認められなかった。

② 図書分類法の改訂

このことについても、ひきつづき懸案事項である。しかし、コンピュータなどの分野によっては、開架閲覧室のフロアを変えての大幅な図書移動を伴うため、現在のように2・3階閲覧室の書架も地下書庫も満杯の状況では早急な実現はむつかしい。

3. 運用課

(1) 津ノ国書庫の新設

津ノ国書庫の新設の経緯は以下のとおりであった。地下書庫拡張について担当部署に相談したところ、ここ数年中に計画がないとの回答を得た。それで次の措置として、書庫拡張までの緊急避難的措置として、学内に代替書庫となるものを要望した。担当部署で検討の結果、神山キャンパス内ではなく、元津ノ国職員住宅を地下書庫拡張まで使用させてもらえることとなった。

図書館内で書庫整備プロジェクトチームを組織し、書庫問題を検討した。

津ノ国書庫概要

収容段数： 4,416段

収容冊数： 約110,400冊(1段25冊)

書庫化工事(間仕切等を排除し、書架を組み立てる)

書架は、地下書庫拡張時に使用可能なものを指定

2階から5階のフロアを使用(1階は荷重対策床工事が必要)

移動資料について、保存書庫(大教室棟)から平成7年3月に移動した重複図書・利用頻度の少なくなった図書約6,000冊(移動後約3年間経過し、利用のなかったもの)、平成4年2月に移動した重複した参考図書(辞典等) 約2,200冊、その他に海外グラフ雑誌131段を決定した。その他に、中央図書館の地下書庫から和・洋書の重複本・旧版など合計937段(冊数見込み約33,500冊)を加え合計41,500冊余の資料を計画した。

書架の組立作業を2月下旬から、移動作業は3月上旬に業者により行った。移動後の作業として、学生アルバイトを使って書架整備、バーコードのスキャン作業を行い、目録の所在データの変更を行った。

運用は、資料請求日の翌日の午前10時までに、メインカウンターに取り置くこととなった。

書庫整備プロジェクト会議では、津ノ国書庫の件のほかに、中央図書館の地下書庫のあり方・配置についても協議した。

(2) 新システムについて

新システムへの移行作業は、6月28日(日)に実施した。図書自動貸出・返却機(ABC)は、5月28日から29日にかけて、1回目の接続を実施した。2回目は6月16、17日の両日に機械を停止してテストをした。システム導入にさきがけ日本電子計算(JIP)による新システム講習会(閲覧関係)が、6月17、18日の両日に半日ずつ3回実施された。

6月29日から新システムでの業務を開始した。その後、LinksⅡのバージョンアップのため、平成11年3月6日から3月13日まで業務を全面的に停止し、その間は、オフライン貸出で対応した。

新システムの良いところは、業務から業務への移行がスムーズに行えるようになったこと。帳票類で「返却願」、「取置通知」は、以前は手書きだったが出力できるようになったために、業務の省力化および書き写しミスがなくなった。また、「指定図書利用状況」なども出力できるようになった。利用者番号が不明なとき、各処理画面ごとに利用者検索ができる機能がついた。「貸出状況」画面で貸出および返却日の確認をした後、「予約処理」画面に遷移して予約がかけられる。

新システムの不具合として、①システム稼動当初は、返却処理ができない資料が多い。②貸出停止期限日が返却された日より以前の日に設定される。③参考図書などが貸出不可の警告表示が出ず貸し出せる、など各処理に数多くの問題点があった。また、画面も閲覧、視聴覚で必要とする項目の追加や表示の変更をした。就職・資格試験資料に添付してある消耗品用バーコードの読み取りができず、全資料について、新しいバーコードを作成し、張り替え作業を行った。帳票関係では、督促状、予約図書一覧票や取置通知状などの出力に不具合があった。最近では、LinksⅡが比較的安定しているが、突然システムダウンをすることも多かった。

現在も、「予約処理」、「統計」にいくつかの不具合があり、「ABC図書自動貸出・返却機」の接続断がたびたび起こるなど、引き続き修正や調査が必要である。

今後は、「利用者管理」、「蔵書点検」の打ち合わせが残っている。

JIPの「京都産業大学図書館をモデルに新図書館パッケージを作る」というふれこみのもと、システム構築が開始されたが、稼動から約1年が経とうとしている現在もなお、修正、改善の繰り返しが続いている。本来、1年間ぐらいは従来のシステムとテスト稼動の2本建てで進めてほしかった。利用者には迷惑をかけ、館員の平常業務にも支障をきたした。

(3) 規程の改定

① 図書館資料選択委員会の廃止

京都産業大学図書館資料選択委員会については、下記理由により京都産業大学図書館委員会と統合し、廃止する事となった。

- a. 書館資料選択委員会の審議事項のひとつである視聴覚資料の選択については、中央図書館開館以降、購入リストを本委員会に報告してきたところであり、選択基準については周知されたものと判断できること。
- b. 委員会の重要な課題である「学生用基本図書選択作業部会」は第4次を重ねてきたところであるが、「同作業部会」については各研究所の委員を含む図書館委員会で審議するにふさわしいこと。
- c. 委員会の発足当時の図書館組織は2課制であったが、事務組織の充実により4課制となり、規程による本委員会への図書館側の出席者は館長以下次長・

4課長・4課長補佐となり構成委員の過半数を占めるにいたったこと。

以上の理由に加えて、図書館委員会と図書館資料選択委員会を統合しても、図書館の運営上差し障りがなく、事務も簡素化されること。

以上の提案を、今年度の第4回図書館委員会に諮ったところ了承され、第5回図書館委員会で関連規程を含めての改廃が了承された。

② 大学コンソーシアム京都事業の参加に伴う「利用者」の改正

本学が、平成11年度より財団法人大学コンソーシアム京都が実施する単位互換事業及びシティーカレッジ事業に参加することに伴い、図書館は単位互換履修生及びシティーカレッジ会員へのサービスを提供するものである。

提供サービス：閲覧

貸出(10冊2週間、指定図書3冊1週間)

複写

レファレンス・サービス

ただし、シティーカレッジ会員で科目等履修生以外は閲覧に限る。

以上の提案を、今年度の第5回図書館員会に諮ったところ了承され、利用規定の改正が行われた。

(4) その他

① 地下1階のキャレルの移動

地下書庫1階の西側窓際に設置されている20台のキャレルのうち、12台を2・3階の閲覧室に移動した。空いたスペースには、新たに書架を設置し、平成12年度に開設が予定されている新学部用の購入資料を配架し、実地検査を受ける予定である。

② 第4次学生用基本図書選択作業部会による選書の受入

平成9年度Ⅱ実施した第4次学生用基本図書選択作業部会による選書された図書の受入が5,578冊、29,748,014円となった。次年度への持ち越しが1,717点、27,685,984円となる。学生用の新刊図書購入に影響が懸念される。

4. 情報サービス課

昨年度にひきつづき、情報サービス課の最大の課題は次期システムの開発であった。

課の態勢としては、4月の時点で専任の相互利用係員1名が参考係に移り、相互利用係には社会人の臨時職員が補充され、課全体としては1名の増員となった。しかし、参考係1名が長期の療養を要する病気のため、10月に人事課に配置換えとなって、結局は昨年度と同じ員数に戻った。

院生アルバイトは例年どおりで、3階のレファレンス・カウンターに毎日半日、相互利用係の補助として半日を週に3回、4月から6月までの新入生ガイダンスの補助として毎日1名、パソコン室の相談員として毎日朝の9時から夜の8時まで1名をお願いした。

(1) 次期システムの開発

次期システムは、構想・発注の段階では平成9年度中に稼動する予定であったが、受注会社である日本電子計算(略称JIP)のパッケージ作成の遅れにより、カスタマイズも大幅に遅れた。

平成9年度末の話し合いで、平成10年6月には本格稼動させることにしたが、その時点では各業務に大小さまざまな不具合があったばかりでなく、納品されないプログラムも少なくなかった。一例をあげれば、オンライン目録にはレスポンス・タイムや機能、画面レイアウトなどの面で問題が多く、とても実用に耐えるものではなかった。そのため、日商岩井インフォコム of 全文検索エンジン"Open Text"を使ったオンライン目録EZ-Catの構築を開始し、9月に仮稼動、12月中旬から本格運用を始めた。

年度末には、各係の日常業務処理はほぼ稼動していたが、予算執行状況表、雑誌の次年度処理、新目録作成システムCat-Pへの対応など、完成が次年度にずれこむ業務があった。

次期システムの開発問題を概括すれば、次のようになる。

- ① パッケージ作成およびそのカスタマイズに関するJIPの予測が甘かった。また、図書館はそれを安易に信じた。そのため、年度途中で新旧システムの切り替えを行わざるをえず、これが遅延と混乱に拍車をかけた。
- ② JIPと各係との仕様打合せが必ずしも十分でなかった。仕事の内容や流れを深く理解していない者が打合せの担当者にならざるをえなかった場合もあった。
- ③ 各係とそのまとめ役である情報処理係との連絡・調整が必ずしも十分でなかった。そのため、相反する仕様変更を申し出てJIPに迷惑をかけたことがあった。

- ④ JIPによるプログラムの納品が少しずつ行われ、かつ説明が不十分だったため、せっかく納品されても仕事にならないことがあった。

これからも当分は不具合の修正やカスタマイズが続くと思われるが、これらの反省を今後に生かさなければならない。

(2) 利用の概況

レファレンス業務の件数が一気に2,000件以上も増加した。増加の大半はCD-ROMの利用である。レファレンス利用の増加には、担当者がつねにカウンターまたはその近くにいることが大切で、昨年度とくらべてレファレンスの態勢がいくぶん整備されたことが増加の一因かも知れない。

レファレンス・カウンターにいて感じるのは、パソコンのキーボードに不慣れな学生が徐々に減ってきていることである。オンライン目録の検索は新入生のガイダンスで実習させているが、大半の新入生が受講するコンピュータ基礎実習の授業が効果をあらわしているのではないかと思う。

相互利用業務では、学外との図書現物の貸借、文献複写の受付・依頼、学内のデリバリー・サービスである図書現物・複写物の配達がすべて増加した。相互利用サービス件数の増加は全国的な傾向であるが、本学は平成10年の6月からオンライン目録をWeb上で公開したので、今後はその影響が出てくるものと思われる。

パソコン室(Windows24台、Mac24台)の利用が今年度に入って急増した。授業開講期はもとより、休暇中でも空くのを待つ人の列ができる状態であった。ガイダンスのアンケートや投書の要望で最も多いのはパソコンの増設だったが、残念ながら館内での増設は望めない状態である。なお、昨年度はトラブルに対処するパソコン相談員の不在時間帯が問題だったが、今年度はそれがほとんどなくなった。

(3) ライブラリー・ガイダンス

新入生全員へのガイダンス実施を目指し始めて2年目であったが、残念ながら今年度も目標に遠くおよばず、全体の62%に対して実施できたにすぎなかった。平成8年度・9年度とくらべて実施人数が減ったわけではないが、「新入生全員への実施」という目標を立て、その体制をととのえ、それなりにPRに努めてきたにしては、残念な結果であった。ありていに言えば、一種の行き詰まり状態である。

その原因はいくつか考えられるが、ゼミ生のガイダンスの予定が先に決まって、新入生のクラスが後回しになるというのがひとつの問題である。これは、ゼミ生のガイダンスを後回しにすればよいという問題ではなく、クラス別ガイダンスが充実してきたころからかかえている、解決のむずかしい問題である。

もうひとつは、外国語の授業が必修でなくなったため、全新生が外国語の授業を受講するわけではなく、受講登録をした新生の一部が早い時期に脱落して

受講をやめてしまうことである。これを解決するための一法は、個人単位でライブラリー・ガイダンスを実施することであるが、過去の実験からすれば、個人で申し込んでくる学生はまれで、効果はあまり期待できない。

このような問題は図書館委員会でも指摘されており、図書館としては、現在のライブラリー・ガイダンスを大幅に発展させる形の「情報リテラシー教育」を開始すべくあるていど具体性のある案を情報委員会に提案した。

現在、わが国で行われている「情報教育」ないし「情報リテラシー教育」のほとんどが、じっさいには「コンピュータ基礎教育」であり、ほんとうの意味の「情報リテラシー教育」になってはいない。つまり、図書館や計算機センターに蓄積された情報を使いこなすための教育はほとんど行われていないのである。そして、情報先進国の大学における情報リテラシー教育の事例を調べるまでもなく、過去10年の新入生およびゼミ生に対するライブラリー・ガイダンスの実績や、学生のアンケートに対する回答などから、私たちは大学教育におけるその必要性・有用性は明らかだと考えている。したがって、新入生全員への情報リテラシー教育の早期実現へむけて、次年度以降も努力しなければならない。

(4) その他

① CD-ROM用パソコンの増設

中央図書館3階のCD-ROM検索コーナーにCD-ROM検索用パソコンを4台増設した。CD-ROMソフトの増加に対応するとともに、ゼミ生のガイダンス時に支障を来さないようにするためである。これによってCD-ROM専用パソコンは合計で10台となった。

② 朝日新聞オンライン版の導入

平成11年2月から、朝日新聞のオンライン版DNA(Digital News Archives)が3階のレファレンス・コーナーで利用できるようになった。1985年から当日までの記事を検索し、本文を読んだりプリントアウトしたりできるもので、検索方法はきわめてシンプルである。現在はIPアドレス1つの契約であるが、朝日新聞社はサイト・ライセンス契約のオンライン版をも準備中であり、次年度はそのテスト利用ないし有料利用を行う予定である。

③ 電子図書館

次年度から徐々に電子図書館の構築を始めたいということで、本学刊行物の電子形態での蓄積・保存を検討するとともに、システム開発会社の提案を聞くなどして、次年度の予算案に電子図書館開発費を計上した。しかしながら、大学の財政事情や図書館側の構想の未成熟などが理由で、予算としては認められなかった。次年度以降の重要な課題である。

IV 業務日誌

1. 館内行事

平成10年4月1日 業務組織変更：目録情報課を新設

課名変更による配置換え

図書管理課 → 管理課

図書運用課 → 運用課

人事異動

図書館長 坂井東洋男(外国語学部)→溝部英章(法学部)

昇任

赤瀬美穂 図書管理課長補佐→目録情報課長(兼目録情報課洋書係長事務取扱)

澤熊智美 情報サービス課参考係長→情報サービス課長補佐(兼参考係長事務取扱)

課新設による配置換え→目録情報課

森井真由美 和書係

宮崎美代子 和書係

中上ゆかり 和書係

久保理恵 洋書係

配置換

石田浩 図書運用課長補佐→管理課長補佐

京極宣夫 図書管理課長補佐→目録情報課長補佐(兼目録情報課和書係長事務取扱)

石倉千鶴恵 図書管理課和書整理係長→管理課受入係長

池田定男 経営学部庶務係長→運用課庶務係長(課長補佐待遇)

小倉都子 図書運用課閲覧係→運用課視聴覚係

山内奈津子 図書運用課視聴覚係→運用課閲覧係

山本顕子 図書管理課→保健管理センター事務室

嘱託職員契約更新 管理課：西村明子、木村町子 目録情報課：田中久子

清水千景 情報サービス課：浦松ユメ子

臨時職員新規契約 管理課：中原志野 目録情報課：内海知子、田中利佳、

山田雅子 運用課：谷口妙子、村本美実子 情報サービス課：出口

壱恵

平成10年度委員会委員

学生用図書選択委員会 澤熊(責任者)、溝部館長、長田、池田(恵)、赤瀬、京極、中上、久保、池田(定)、別所、宝田、近江、天笠

館報Lib. 編集委員 澤熊(責任者)、池田(恵)、森井、池田(定)

ホームページ委員 天笠(責任者)、久保、小倉、近江

研修委員 長田(責任者)、別所

図書館年報編集委員 宝田(責任者)

全体会議 13:00～

- 業務検討会 13:50～
- 各課会議
- 図書館事務室内禁煙(スタッフラウンジでの喫煙)
- 2日 大学院生・学部学生アルバイト打合せ会
日本図書館協会大学図書館部会長館引継ぎ(大阪府立大学早野氏、本学村橋次長・大山・横山)
- 3日 入学式学生証交付応援(4日まで)
オリエンテーション資料搬入作業(近藤)
日本電子計算(株)(以下JIP)による納品済みプログラム説明会
- 6日 新入生オリエンテーション(説明・ビデオ上映 8日まで)
職員パソコン講習会(神山ホール第2セミナー室)
- 7日 定例会議 原則毎週火曜日開催
- 8日 3階コピー室設置(CD-ROM検索コーナー拡張のため)
- 9日 所属長会議
「京都産業大学広報」創刊説明会
定時外開館開始(今年度授業開始)
- 10日 春期休暇貸出返却期限日
- 13日 映画研究部 12:00～(図書館ホール 17日まで)
新入生ライブラリーガイダンス開始
- 14日 空調設備の冷房への切り替え作業(15日まで)
JIPによる設定作業
- 15日 第4次学生用基本図書選択作業部会選書リスト重複調査終了
- 17日 私立大学図書館協会平成10年度第1回常任幹事会(会議室)
9号館書庫浸水(除湿機の排水パイプの詰まりによる)
- 22日 第1回図書館委員会
- 24日 入試関係図書館見学(大江高校40名)以降随時あり
- 30日 月末作業日閉館
全体会議
業務検討会
各課会議
新作大学広報ビデオ試写会(広報課 図書館ホール)
丸善ブックメイツキャンペーン(会議室)
臨時休校(5月2日まで)
- 5月 1日 平成10年度教育懇談会打合せ会(池田庶務係長)
- 6日 書庫問題管財課提案説明会(西浦管財部長 村橋次長・大山運用課長、他)
業務分担表提出(総務課)
- 7日 JIPとの打合せ会議
- 14日 所属長会議
- 15日 正面玄関誘導チャイム鳴動事件(受付カウンター監視盤の同電源が閉館後もONになっていたもの)
- 18日 LINUS/NCについてJIPの説明会
- 20日 学生相談室セミナー(図書館ホール)
- 21日 盗難防止テープ放送開始(原則平日16:20、土曜日11:45)

- 22日 新システムへの移行のため図書館システムを停止(29日まで)
- 25日 Lib. 編集会議
- 28日 JIPによる納品：ABCテスト
- 29日 月末作業日閉館
- 30日 軍事史学会 11時20分～ 図書館ホール 参加者：164名
- 6月 3日 津ノ国職員住宅の書庫転用について管財部と打合せ
新図書館システムLinksIIの運用課関連のテスト開始
- 4日 研修推進者会議
- 5日 研修報告(平成9年度)調査提出
- 7日 平成10年度前期日曜開館開始
- 9日 職員健康診断(12日まで)
- 12日 JIP設定作業
- 15日 学部等設置事務担当者会議(本館会議室)
新システム移行開始
防犯レーダー点検(16日まで)
- 17日 JIPによる新システム講習会(18日まで)
- 22日 高等学校等入試担当者説明会参加者見学
- 24日 第2回図書館委員会
第1回図書館資料選択委員会
同和教育研修会(図書館ホール)
- 25日 臨時職員マナー講習会
- 27日 教育懇談会参加者見学(見学者：143名)
- 29日 閲覧関係新システム本番稼動
- 30日 高等学校等入試担当者説明会参加者見学
- 7月 4日 教育懇談会参加者見学(見学者：137名)
- 6日 定期試験期複写機増設 2階、3階各1台
- 8日 大学カード保持者への利用カード番号付与の打合せ(経理課 会議室)
- 9日 所属長会議
- 14日 JIPとの打合せ
- 17日 普通図書夏期休暇貸出開始
新図書館システム講習会(JIP)
- 18日 すみれ幼稚園おとまり保育アニメ上映(図書館ホール)
- 21日 マイカー通学指導
新CAT(目録作成)システム打合せ(JIP)
- 22日 製本雑誌引渡し(ナカバヤシ製本)
オープンキャンパス参加者へ開放
- 24日 指定図書夏期休暇貸出開始
- 27日 新図書館システム目録講習会(JIP)
- 28日 コンテナサーバー保守点検(日本ファイリング)
- 29日 新入生オリエンテーション検討会
- 8月 3日 通常開館(午前8時45分～午後4時30分)
オープンキャンパス(市内20大学一斉)参加者へ開放(4日まで)
- 7日 JIPと打合せ会議

- 20日 新システムのプログラム6本納品(JIP)
- 24日 JIP来館(説明 25日まで)
- 27日 オンライン目録EZ-Cat打合せ会議(JIP、日商岩井インフォコム)
- 9月 1日 新システムのプログラム7本納品(JIP)
 - 7日 JIPによる各係への説明(以後9日、11日、14日、18日)
 - 8日 貴重品ロッカー納入
 - 9日 北消防署立入検査実施
 - 11日 JIPとの打合せ会議
 - 12日 オープンキャンパス参加者図書館見学
教養講座第2回(生涯学習教育センター 図書館ホール)
 - 14日 専任職員への事務用パソコン配備開始
 - 21日 臨時休館
全体会議
図書館研修会
 - 22日 台風接近による暴風警報発令のため午後2時にて臨時閉館
 - 24日 定時外開館開始
貴重品ロッカー導入
休暇貸出返却期限日
EZ-Cat(Open Text版)導入テスト(27日まで)
 - 28日 JIPが最優先すべきプログラムを納品
 - 30日 目録情報課臨時職員 内海知子退職
JIPと打合せ(情報処理係)
- 10月 1日 人事異動辞令交付
 - 宮崎美代子 目録情報課和書係→教務部同和教育資料室
 - 竹野まさる 情報サービス課相互利用係→総務部人事課
 - 臨時職員新規契約 目録情報課：平松由紀
 - 2日 JIPとの打合せ会議(各係)
 - 5日 パソコン研修会開始(29日まで)
 - 6日 EZ-Cat仕様検討会(会議室)
 - 7日 図書館書庫整備プロジェクト打合せ
 - 8日 JIPとの打合せ会議(各係)
 - 12日 CINEMA WEEK 外国語教育研究センター(図書館ホール 20日まで)
図書返却延滞者督促状発送
 - 14日 図書館書庫整備プロジェクト会議 第1回
 - 16日 所属長会議
平成11年度予算説明会(のち、館内報告会)
 - 20日 カラーコピー機更新
九州産業大学図書館来館(2名)
 - 21日 EZ-Cat打合せ会議(JIP、日商岩井インフォコム)
 - 22日 成人病検診開始(28日まで)
 - 26日 平成10年度教育懇談会反省会
次年度予算入力開始
 - 27日 書庫整備プロジェクト会議 第2回

- JIP説明のために来館
- 28日 第3回図書館委員会
第2回小川環樹文庫整理委員会
- 30日 人件費説明会(人事課)
- 11月 1日 事務用パソコン電源工事
- 4日 電子図書館打合せ(JIP、日商岩井インフォコム)
- 5日 システム農学会(図書館ホール 6日まで)
書庫整備プロジェクト会議 第3回
- 7日 大学におけるセクシュアルハラスメント(京都産業大学教職員労働組合 図書館ホール)
- 10日 JIP館内にて作業
- 13日 JIPとの打合せ会議
- 14日 国際言語科学研究所共同研究会(図書館ホール)
EZ-Cat打合せ会議(JIP)
- 16日 運用課次年度予算に関する打合せ(課長・3係長)
書庫整備プロジェクト会議 第4回
EZ-Cat第2版納品(JIP)
パソコン室の次年度以降の運用について打合せ(計算機センター、情報処理係)
- 18日 チャンドラー研究会(グループ視聴覚室)
- 20日 次年度予算とりまとめ所属協議締切り
JIPとの打合せ会議(帳票類)
- 21日 日本ロシア文学会関西支部秋季総会・研究発表会(図書館ホール)
- 25日 所属長会議
- 26日 京都産学ジョイントイベント(28日まで)
JIP館内にて作業
- 27日 次年度予算館内締切り
- 30日 月末作業日
全体会議
第4回図書館委員会
各課会議
- 12月 1日 上野継義写真展(パソコン室 17日まで)
- 2日 第4回図書館委員会
第2回図書館資料選択委員会
同和教育研修会(図書館ホール)
私大助成説明会
- 3日 JIP館内にて作業
- 4日 次年度「業務計画調査票」提出
次年度予算1次提出
- 7日 EZ-Cat仕様検討会(会議室)
- 10日 「シティーカレッジ会員証」(発行：大学コンソーシアム京都)持参者来館
JIP館内にて作業・説明
- 15日 次年度予算ヒアリング

- 書庫整備プロジェクト会議 第5回
EZ-Cat最終版納品(JIP)
- 18日 臨時職員の雇用契約継続意向調査
- 22日 書庫整備プロジェクト会議 最終回
JIP来館
情報委員会(横山)
- 24日 学生相談担当者会議
- 25日 全体会議
図書館書庫プロジェクト答申案提示(定例会議)
入館統計用パソコン2000年問題テスト(異常認めず)
- 平成11年 1月 7日 新年交歓会
業務予定表 1月1日以降中止
- 12日 NACSIS-ELS(学術情報センターの電子図書館サービス)の教員利用に関する打合せ(経理課・教務課・情報サービス課)
- 13日 総合能力開発室パンフレット作成のための館内撮影
情報委員会(横山)
- 14日 地下2階床浸水
新システムのプログラム一部納品(JIP)
- 20日 津ノ国書庫起案完了
情報委員会(横山)
- 24日 JIP来館説明
- 25日 チャンドラー研究会(グループ視聴覚室)
- 26日 JIP来館説明
- 27日 第5回図書館委員会
- 28日 マイカー通学者指導
情報委員会(横山)
- 2月 2日 情報通信工学科特別研究Ⅱ成果発表会(図書館ホール 4日まで)
- 3日 所属長会議
- 4日 普通図書休暇貸出開始
次年度指定図書案内状発送
- 5日 次年度予算第2次提出
館内絨毯清掃(6日まで)
- 11日 Oracleバージョンアップ準備(JIP)
- 12日 人事課学生アルバイト説明会
- 15日 工学部研究発表会(図書館ホール 16日まで)
- 16日 JIP来館作業
- 18日 理学部物理学科特別研究発表会(図書館ホール 19日まで)
- 19日 津ノ国書庫書架組立て開始(丸善)
- 22日 市原書庫新聞搬入作業(23日まで)
- 23日 単位互換履修生等受入れ打合せ会(学事課・教務課・図書館)
資料室雑誌引き上げ作業
- 24日 同和教育研修会(図書館ホール)
- 25日 研修推進者会議

- 26日 月末作業日
 全体会議
 各課会議
 津ノ国書庫書架組立て進捗状況下見
 学生用図書選択委員会
- 3月 1日 オリエンテーション打合せ会(澤熊)
 2日 所属長会議
 5日 臨時職員雇用要望書人事課へ提出
 6日 文部省科研費研究集会(図書館ホール)
 8日 平成10年度第6回大学図書館協力ニュース編集会議(会議室)
 図書館新システムLinksⅡがJIP社によるバージョンアップ作業のため停止(13日まで)。この間、JIPほとんど毎日常駐
 10日 10号館竣工式・講演会・見学会
 11日 移動予定資料スキャン作業打合せ
 12日 コンテナサーバー保守点検(日本ファイリング)
 15日 津ノ国書庫移動資料スキャン作業(アルバイト10名 3月31日まで)
 電話対応研修会
 複写機更新(2階4台 3階2台 地下1階1台)
 JIP来館作業
 17日 地下1階電動書架補修(文祥堂)
 18日 地下1階キャレル12台3階フロアへ移動
 空調吹き出し口調整作業
 24日 大学コンソーシアム京都地区調査会研究発表(図書館ホール)
 26日 新システムのプログラム一部納品(JIP)
 30日 管轄変更(定例会議合意事項)
 資料室 情報サービス課→運用課
 中国語図書目録編成 運用課→目録情報課
 目録情報課新CATシステム説明会(JIP)
 31日 臨時職員退職 目録情報課：田中利佳 運用課：谷口妙子、村本芙実子

2. 館外研修・出張・外勤

- 平成10年4月22日 「情報公開と米国政府刊行物」講演会・見学会(関西アメリカンセンター)澤熊智美
- 5月8日 「大学図書館協力ニュース」平成10年度第1回編集委員会(東京大学)大山襄
- 13日 日本図書館協会大学図書館部会平成10年度第1回委員会(大阪府立大学)横山桂
- 20日 学術情報センター目録システム講習会(～22日、学術情報センター)京極宣夫
- 22日 Chadwyck-Healey社セミナー(ハートピア京都)近江由紀子
- 27日 私立大学図書館協会西地区部会春季京都地区協議会第112回・相互協力連絡会第14回(奈良大学)赤瀬美穂・富崎千賀子
- 29日 日本図書館協会大学図書館部会総会・日本図書館協会定期総会(東京芸術劇場)村橋元雄・大山襄
- 6月8日 国立国会図書館開館50周年記念式(国立国会図書館)溝部英章館長・小寺源吾
- 9日 社団法人日本私立大学連盟「職員総合研修運営委員会」応用コース担当実行委員会(アルカディア市ヶ谷)赤瀬美穂
- 18日 私立大学図書館協会西地区部会役員会・総会(～19日、名古屋学院大学)溝部館長・村橋元雄・小寺源吾
- 24日 社団法人日本私立大学連盟1998年第2次職員総合研修「応用コース(政策形成支援)」第1回合宿研修会(～25日、グランドホテル浜松)赤瀬美穂
- 7月10日 西日本地区法律資料に関する図書館・資料室連絡会(大阪市立大学)近江由紀子
- 15日 国公私立大学図書館協力委員会第44回(早稲田大学)大山襄
- 24日 社団法人日本私立大学連盟「職員総合研修運営委員会」応用コース担当実行委員会(アルカディア市ヶ谷)赤瀬美穂
- 29日 私立大学図書館協会東西合同役員会(神奈川大学)溝部館長・村橋元雄・小寺源吾
- 30日 私立大学図書館協会総会・研究大会(～31日、神奈川大学)溝部館長・村橋元雄・小寺源吾
- 8月5日 紀伊國屋書店ジャーナル・セミナー'98(梅田スカイビル)長田伸寛
- 26日 文化庁主催図書館等職員著作権実務講習会(～28日、京都大学)小倉都子
- 社団法人日本私立大学連盟第2次職員総合研修「応用コース(政策形成支援)」第2回合宿研修会(～28日、グランドホテル浜松)赤瀬美穂
- 9月3日 「大学図書館協力ニュース」平成10年度第3回編集委員会(東京大学)大山襄
- 17日 私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会相互協力連絡会第15回・私立大学図書館協会西地区部会平成10年度秋季京都地区協議会第113回(奈良産業大学)大山襄
- 24日 私立大学図書館協会西地区部会役員会・研究会(～25日、広島工業大学)溝部館長・村橋元雄・小寺源吾
- 28日 漢籍担当職員講習会(電算処理)(～10月2日、京都大学)中上ゆかり
- 29日 社団法人日本私立大学連盟「職員総合研修運営委員会」応用コース担当実行委員会(アルカディア市ヶ谷)赤瀬美穂
- 10月16日 私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会主題別研究会B(業務)(花園大

学)森井真由美・井上智英子

21日 全国図書館大会第84回(～23日、主催：日本図書館協会 秋田県)京極宣夫

22日 学術情報センターILLシステム講習会(～23日、学術情報センター)浦松ユメ子

23日 私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会主題別研究会A(書誌)(京都薬科大学)石倉千鶴恵・池田恵子

26日 私情協事務システム研修会第17回(～28日、グランドホテル浜松)久保理恵

29日 「大学図書館協力ニュース」平成10年度第4回編集委員会(東京大学)大山襄

30日 国公私立大学図書館協力委員会第45回・国立国会図書館との懇談会(東京大学)大山襄

11月5日 私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会研修大会(高岡法科大学)石田浩

9日 文部省大学図書館職員講習会(～12日、京都大学)桑名美幸

13日 法律図書館連絡会総会第41回(専修大学)澤熊智美

17日 新CAT/ILLシステム説明会(主催：学術情報センター 京都大学)中上ゆかり・浦松ユメ子

19日 関西大学図書館セミナー第3回(関西大学)天笠洋一

26日 社団法人日本私立大学連盟第2次職員総合研修「応用コース(政策形成支援)」第3回合宿研修会(～27日、グランドホテル浜松)赤瀬美穂

12月3日 私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会研修会(大阪府立中央図書館)池田定男

11日 私立大学図書館協会常任幹事会平成10年度第2回(西南学院大学)溝部館長・村橋元雄・小寺源吾

12日 九州産業大学表敬訪問(次期総会・研究大会担当校)溝部館長・村橋元雄・小寺源吾

平成11年1月11日 「大学図書館協力ニュース」平成10年度第5回編集委員会(東京大学)大山襄

27日 新CAT/ILLシステム接続用システムのデモンストレーション(日本電子計算(株)東京本社)久保理恵

2月22日 国公私立大学図書館協力委員会(臨時委員会)(東京大学)大山襄

3月2日 社団法人日本私立大学連盟「職員総合研修運営委員会」応用コース担当実行委員会(アルカディア市ヶ谷)赤瀬美穂

4日 私立大学図書館協会西地区部会役員会平成10年度第2回(アルカディア市ヶ谷)溝部館長・小寺源吾

5日 私立大学図書館協会東西合同役員会平成10年度第2回(アルカディア市ヶ谷)溝部館長・小寺源吾

3. 館内研修

平成10年9月21日 図書館職員人権研修会

人権問題啓発視聴覚教材『モハメッド・アリの真実』を鑑賞
図書館職員研修会：事例研究発表

「漢籍と漢籍目録－小川文庫を整理しながら」田中久子

「日本私立大学連盟職員総合研修について」赤瀬美穂

「貴重品ロッカーの取り扱いについて(説明)」大山襄

平成11年2月26日 図書館職員研修会：事例研究発表

「図書館のWWW環境およびHTMLの記述について」天笠洋一

4. 見学者

平成10年5月6日 学校法人大和学園京都栄養士専門学校2名

6月8日 マセイ大学日本語センターハンドルビー氏

20日 松山大学図書館職員16名

7月14日 広島経済大学学長・図書館課長ほか3名

8月3日 京都大学工学部機械系専攻図書室3名

26日 愛知淑徳大学・豊田工業大学3名

9月11日 姫路工業大学附属図書館3名

12月2日 韓国大学生訪日研修団一行20名

17日 名古屋経済大学3名

平成11年2月16日 大阪国際大学図書館岩本博氏ほか2名

3月1日 甲南大学前川恒雄氏・大阪商業大学高橋哲雄氏ほか3名

8日 『大学図書館協力ニュース』編集委員9名

9日 京都大学東南アジア研究センター2名

V 基礎資料・統計 (1998.4.1～1999.3.31)

期間・日時を明示していないものは、全て年間・年度末時点のデータである。

1. サービス対象者・図書館職員

(1) サービス対象者数(人) 平成10年5月1日現在

内 所 属	学 生			教 員		職 員	卒 業 生	合 計
	学部	研究科	聴講生	専任	非常勤			
経 済 学 部	3,077	15		27	8		64	3,191
経 営 学 部	3,283			27	10		72	3,392
法 学 部	3,153	23		30	15		130	3,351
外国語学部	2,369	3		62	78		113	2,625
理 学 部	796	16		39	5		47	903
工 学 部	615	26		23	14		25	703
教育研究センター				62	107			169
研 究 所				22	1			23
そ の 他			30			263		293
合 計	13,293	83	30	292	238	263	451	14,650
前 年	12,896	77	20	294	233	259	376	14,155

i 教育研究センターは、一般・英語・外国語・体育の4センターの合計である。

ii 研究所は、計算機科学・世界問題・国際言語科学・国土利用開発・現代体育・日本文化の6研究所の合計である。

iii 聴講生には、外国語専攻科生、外国人特別生及び委託生を含む。

iv 卒業生は年度末までの図書館利用申請者の人数である。

(2) 図書館職員数(人) 平成10年5月1日現在

	専任	兼任	嘱託	臨時	合計	前年
館 長		1			1	1
次 長	1				1	1
管 理 課	8		2	1	11	23
目 録 情 報 課	6		2	3	11	—
運 用 課	9			2	11	12
情報サービス課	7		1	1	9	8
合 計	31	1	5	7	44	45
前 年	33	1	1	10	45	

2. 施設・設備

(1) 面積・座席数

		面積(m ²)					座席数
		閲覧	書庫	事務室	その他	計	
中央図書館	1 階	633	72	590	972	2,267	313
	2 階	1,691			564	2,255	485
	3 階	1,670		22	408	2,100	437
	屋 階				7	7	
	地下 1 階	57	1,091		144	1,292	15
	地下 2 階	23	1,183	21	963	2,190	9
	小 計	4,074	2,346	633	3,058	10,111	1,259
資料室・保存書庫	経済経営学部	53				53	10
	法 学 部	80				80	12
	外国語学部	53				53	12
	理 学 部	114				114	16
	情報通信工学	39				39	9
	生物工学科	21				21	8
	大教室棟書庫		78			78	
	9 号 館 書 庫		190			190	
	津ノ国書庫		538			538	
	小 計	360	806	0	0	1,166	67
合 計		4,434	3,152	633	3,058	11,277	1,326

(2) 資料収容能力(冊数・点数)

		図書	雑誌	新聞	マイクロ資料	視聴覚
中央図書館	1 階	1,200			101,920	16,760
	2 階	52,330	1,764	82		
	3 階	65,820				
	屋 階					
	地下 1 階	402,600				
	地下 2 階	199,700				
	小 計	721,650	1,764	82	101,920	16,760
資料室・保存書庫	経済経営学部	918				
	法 学 部	1,368				
	外国語学部	1,872				
	理 学 部	4,284	550			
	情報通信工学		100			
	生物工学科		120			
	大教室棟書庫	50,900				
	9 号 館 書 庫	48,300				
	津ノ国書庫	110,400				
	小 計	218,042	770	0	0	0
合 計		939,692	2,534	82	101,920	16,760

i 図書の収容能力は、書架1段を25冊として算出。

(3) 情報機器等設置状況
利用者用

オンライン目録	PC プリンター	DEC p c	XL 4 6 6 d 2	1 3 台
		富士通	FMV-4 6 6	4 台
		京セラ	LS-1 7 0 0	2 台
		EPSON	LP-1 0 0 0	1 台
CD-ROM 検索	PC プリンター	富士通	FMV-5 1 3 3	8 台
		NEC	PC-9 8 0 1 B X 2	2 台
		京セラ	LS-1 7 0 0	1 台
		EPSON	LP-1 5 0 0	1 台
パソコン室	PC プリンター	HP	VL 6 / 3 0 0	2 4 台
		Apple	6 1 0 0 / 6 6	1 2 台
		Apple	7 2 0 0 / 1 2 0	1 2 台
		京セラ	LS-1 7 0 0	1 台
		EPSON	LP-8 0 0 0	1 台
図書館ホール	液晶プロジェクター PC	EPSON	ELP-5 0 0 0	1 台
		飯山	a P 5 5 0 1 7	1 台

図書館業務用

クライアント	PC プリンター	HP	VL 6 / 2 6 6	1 5 台
		富士通	FMV-5 1 3 3	1 4 台
		towtop	VIP-5 1 3 3	1 台
		towtop	VIP-6 2 6 6	1 台
		京セラ	LS-1 7 0 0	1 台
		EPSON	LP-9 6 0 0	1 台
		EPSON	LP-9 0 0 0 P S 2	1 台
		HP	LaserJet 5 S i	1 台
		HP	LaserJet 5 L	1 台
		Canon	LBP-A3 0 9 G 2	1 台
		Canon	LBP-B4 0 6 E	1 台
		Canon	LBP-3 1 0	1 台
		富士通	XL-5 7 0 0	1 台
		INTERMEC	8 6 4 6	1 台
		東急車両	ABC	1 台
		フルノ	PI-1 6 0 0	5 台
		フルノ	PH-1 6 0 0	1 台
サーバー	Server	HP	LHII (6300)	3 台
		DEC p c	4 6 6 d 2 M T E	1 台
		富士通	FM-Server	3 台

事務システム

クライアント	PC プリンター	日立	FLORA 3 0 1	3 2 台
		リコー	IPSiO NX 7 0 0	4 台

(4) 視聴覚施設・機器設置状況

施設	機器	台数	視聴方式	定員
個人 視聴覚室 (1室)	ビデオテープ (SVHS) レーザーディスク (LD) " (CLD) " (DVDLD) モニターテレビ (11インチ) コンパクトディスク カセットテープ	10 5 5 2 17 3 8	ヘッドホン	40名
グループ 視聴覚室 (5室)	ビデオテープ (SVHS) レーザーディスク モニターテレビ (27インチ) コンパクトディスク カセットテープ レコードプレーヤ(20名室)	5 5 5 5 5 2	ルーム スピーカー	15名 (5名×3室) 40名 (20名×2室)
図書館 ホール	ビデオプロジェクター ビデオテープ (SVHS) " (VHS) " (β) " (v) コンパクトディスク レーザーディスク カセットテープ レコード スライド 液晶プロジェクター 教材提示装置 編集機 (VHS) ビデオカメラ一式	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	フロント スピーカー	最大収容178名 (内98席固定)
映像送出 装置	レーザーディスク ビデオ (β) ビデオ (v)	1 1 1		
移動式 ビデオ	ビデオ (β) ビデオ (v)	2 1		
マイクロ リーダー室	コンテナサーバーシステム マイクロリーダープリンター	1 2		

(5) 複写機設置状況

設置場所	機種	台数	用途
1 階 事 務 室	ゼロックスVivace330,Able3321	2	事務用, 文献複写
2 階複写コーナ	ミノルタEP3050,BC3000A・B	5	文献複写
3 階複写コーナ	" EP3050,CF70(カラー)	3	文献複写
地 下 1 階	" EP3050	2	文献複写

3. 蔵書・整理統計

(1) 主題別登録資料冊数

		年間受入	除籍	目録変更	累積	前年累積
和 書	総 記	1,094	3	△7	13,660	12,576
	哲 学	1,080	1	28	23,360	22,253
	歴 史	1,744	5	5	41,894	40,150
	社 会	4,470	60	73	124,828	120,345
	自 然	1,937	16	35	43,738	41,782
	工 学	1,002	7	45	22,096	21,056
	産 業	582	2	9	18,386	17,797
	芸 術	1,558	3	32	25,437	23,850
	語 学	901	61	△21	21,301	20,482
	文 学	2,229	20	52	51,395	49,134
	逐次刊行物	836	3	43	65,443	64,567
	漢 籍	15	0	1,500	28,948	27,433
	そ の 他	1,716	8	△1,930	5,757	5,979
	小 計	19,164	189	△136	486,243	467,404
洋 書	総 記	163	0	△9	10,244	10,090
	哲 学	481	0	10	15,270	14,779
	歴 史	566	0	112	19,113	18,435
	社 会	1,524	5	34	66,315	64,762
	自 然	677	0	29	38,664	37,958
	工 学	196	0	△46	8,437	8,287
	産 業	178	1	54	6,984	6,753
	芸 術	582	0	52	6,846	6,212
	語 学	865	10	202	26,051	24,994
	文 学	936	5	267	56,640	55,442
	逐次刊行物	4,939	0	54	103,206	98,213
	そ の 他	595	7	△623	2,024	2,059
	小 計	11,702	28	136	359,794	347,984
合 計		30,866	217	0	846,037	815,388

(2) 所在別冊数(登録資料)

		和書	洋書	合計
中央図書館	1階	12,906	4,089	16,995
	2階	82,152	1,758	83,910
	3階	101,424	863	102,287
	地下1階	212,505	91,436	303,941
	地下2階	995	224,258	225,253
	コンテナ・サーバー	15,931	11,204	27,135
	貴重書庫	567	1,476	2,043
	小 計	426,480	335,084	761,564
経済・経営学部資料室		591	204	795
法 学 部 資 料 室		462	283	745
外国語学部資料室		490	869	1,359
理 学 部 資 料 室		215	705	920
工 学 部 資 料 室		104	639	743
現代体育研究所		1,484	18	1,502
語学ラボラトリーセンター		2,027	3,260	5,287
教職課程講座センター		332	6	338
法職講座センター		714	0	714
同和教育資料室		2,059	20	2,079
保 存 書 庫		51,285	18,706	69,991
小 計		59,763	24,710	84,473
合 計		486,243	359,794	846,037

(3) 運用別冊数(登録資料)

	和書	洋書	合計
普 通 図 書	320,036	221,651	541,687
指 定 図 書	4,957	318	5,275
参 考 図 書	34,324	14,028	48,352
大 型 本	1,738	19	1,757
文 庫 ・ 新 書	18,287	134	18,421
京 都 関 係	1,090	1	1,091
就 職 ・ 資 格	215	0	215
逐 次 刊 行 物	65,400	103,152	168,552
視 聴 覚 資 料	17,181	6,877	24,058
マイクロ資料	12,953	10,885	23,838
荒 木 文 庫	1,597	397	1,994
大 石 文 庫	510	2	512
小川環樹文庫	4,543	315	4,858
教 員 文 庫	435	30	465
社 史	2,599	1,152	3,751
貴 重 書	3	77	80
準 貴 重 書	50	743	793
学 位 論 文	325	13	338
合 計	486,243	359,794	846,037

(4) 非図書資料(登録資料)

	和書	洋書	合計	前年
録音カセット	2,225	2,674	4,899	4,840
レコード	43	230	273	275
コンパクト・ディスク	2,137	313	2,450	2,241
録音資料：その他	54	427	481	481
映画フィルム	166	96	262	262
スライド	83	60	143	140
トランスペアレncy	2	2	4	4
ビデオカセット	10,376	3,036	13,412	12,697
DVD(AV)	49	0	49	0
フィルムストリップ	0	2	2	2
レーザー・ディスク	2,043	36	2,079	1,859
写真フィルム／ネガ	3	0	3	3
映像資料：その他	0	1	1	0
マイクロフィルム	12,718	10,030	22,748	21,640
マイクロフィッシュ	235	855	1,090	1,090
CD-ROM	322	269	591	456
DVD	1	0	1	0
磁気カートリッジ	0	6	6	6
フロッピーディスク	13	110	123	119
磁気テープ(MT)	0	6	6	6
地図	37	364	401	399
点字資料	8	0	8	8
絵画	1	3	4	4
標本	0	1	1	1
模型	0	1	1	1
年表(1枚もの)	1	0	1	1
手稿	0	3	3	2
卷子物	36	2	38	19
楽譜	4	12	16	16
その他	0	3	3	3
合 計	30,557	18,542	49,099	46,575

(5) 所属別冊数(登録資料)

	和書	洋書	合計
経 済 学 部	40,529	41,897	82,426
経 営 学 部	26,401	21,320	47,721
法 学 部	36,780	36,017	72,797
外 国 語 学 部	74,539	96,558	171,097
理 学 部	18,322	57,587	75,909
工 学 部	6,382	13,232	19,614
一般教育研究センター	2,003	768	2,771
英語教育研究センター	906	1,195	2,101
外国語教育研究センター	2,236	3,361	5,597
体育教育研究センター	2,549	76	2,625
旧 教 養 部	103,384	58,442	161,826
計 算 機 科 学 研 究 所	1,045	2,492	3,537
世 界 問 題 研 究 所	2,124	2,460	4,584
国 際 言 語 科 学 研 究 所	1,951	4,083	6,034
国 土 利 用 開 発 研 究 所	4,854	1,359	6,213
現 代 体 育 研 究 所	2,550	329	2,879
日 本 文 化 研 究 所	1,171	184	1,355
語学ラボラトリーセンター	2,108	3,614	5,722
教職課程講座センター	7,029	2,702	9,731
保 健 管 理 セ ン タ ー	1,405	60	1,465
同 和 教 育 資 料 室	4,424	37	4,461
図 書 館	143,551	12,021	155,572
合 計	486,243	359,794	846,037

(6) 逐次刊行物所蔵誌数

	人文	社会	自然	合計
和 雑 誌	2,439	2,760	812	6,011
洋 雑 誌	1,442	1,885	1366	4,693
合 計	3,881	4,645	2,178	10,704

(7) 逐次刊行物継続受入数

① 分野別

	人 文		社 会		自 然		合 計		
	和	洋	和	洋	和	洋	和	洋	計
雑誌（購入）	326	507	309	536	188	433	823	1,476	2,299
雑誌（寄贈）	157	15	274	20	53	3	484	38	522
紀要・論集	888	4	765	18	196	3	1,849	25	1,874
小 計	1,371	526	1,348	574	437	439	3,156	1,539	4,695
新聞（購入）	44	44	3	0	1	0	48	44	92
新聞（寄贈）	3	1	0	0	1	0	4	1	5
加除式資料	3	5	160	40	15	3	178	48	226
合 計	1,421	576	1,511	614	454	442	3,386	1,632	5,018

② 所属別

	購 入		寄 贈		合計		
	和	洋	和	洋	和	洋	計
学 生 用	791	50	937	2	1,728	52	1,780
経 済 学 部	1	215	331	24	332	239	571
経 営 学 部	13	153	239	4	252	157	409
法 学 部	18	190	242	15	260	205	465
外 国 語 学 部	93	270	185	4	278	274	552
理 学 部	1	216	73	1	74	217	291
工 学 部	32	132	28	1	60	133	193
一般教育研究センター	11	47	176	3	187	50	237
英語教育研究センター	0	61	8	0	8	61	69
外国語教育研究センター	43	96	3	0	46	96	142
体育教育研究センター	4	1	14	0	18	1	19
計算機科学研究所	1	8	0	0	1	8	9
世界問題研究所	5	4	2	0	7	4	11
国際言語科学研究所	0	19	3	0	3	19	22
国土利用開発研究所	8	9	10	1	18	10	28
現代体育研究所	0	25	2	0	2	25	27
日本文化研究所	6	3	3	0	9	3	12
語学ラボラトリーセンター	0	0	0	0	0	0	0
教職課程講座センター	5	11	9	0	14	11	25
法 職 講 座 セ ン タ ー	7	0		0	7	0	7
会計職講座センター	1	0	2	0	3	0	3
保健管理センター	3	1	0	0	3	1	4
同和教育資料室	3	0	0	0	3	0	3
図書館（事務用）	5	57	68	9	73	66	139
合 計	1,051	1,568	2,335	64	3,386	1,632	5,018

(8) 年間整理冊数(過去5年間)

		1994	1995	1996	1997	1998
和 書	和 図 書	19,331	17,444	17,168	17,189	16,821
	中 国 語	3,395	1,353	1,026	693	134
	和 雑 誌	1,667	5,040	1,233	3,831	836
	小 計	24,393	23,837	19,427	21,713	17,791
洋 書	洋 図 書	7,927	9,628	6,210	5,678	6,549
	洋 雑 誌	6,002	3,335	4,798	2,401	4,939
	小 計	13,929	12,963	11,008	8,079	11,488
合 計		38,322	36,800	30,435	29,792	29,279

i システム移行にともないロシア語は洋図書に統合

ii 中国語は4月、5月の冊数のみ記載(システム移行にともなう経過処置)

(9) 書誌レコード件数の推移(過去5年間)

		1994	1995	1996	1997	1998
和 図 書		249,038	263,034	277,910	293,296	356,771
和 雑 誌		4,810	5,146	5,651	5,919	6,011
洋 図 書		207,936	217,529	224,324	229,932	238,216
洋 雑 誌		4,374	4,472	4,537	4,633	4,693
合 計		466,158	490,181	512,422	533,780	605,691

i 1998年より書誌レコード作成基準が変更(新システムでは発注・仮登録も含めたすべての場合に書誌レコードが作成される)。

4. 利用統計

(1) 開館・入館者

① 中央図書館開館統計

	開館日数		定時外開館	
	総日数	(日・祝日)	時間	日数
平成10年 4月	23		71.25	18
5月	23		87.25	21
6月	30	(4)	130.5	30
7月	31	(5)	135.5	31
8月	11		0	0
9月	23		15	9
10月	25		93.25	24
11月	20		78	20
12月	22	(2)	81.75	19
平成11年 1月	25	(5)	112.75	24
2月	20	(2)	55	12
3月	25		18	4
合 計	278	(18)	878.25	212
前 年	281	(17)	968.00	233

② 日曜・祝日開館実施状況

今年度

開館日	入館者数	
6月 7日	173	
14日	115	
21日	77	
28日	228	
7月 5日	326	
12日	515	
19日	663	
20日	1,125	(最高入館者数)
26日	633	
12月 6日	157	
13日	190	
1月10日	431	
15日	386	
17日	760	
24日	555	
31日	477	
2月11日	231	
14日	190	
合 計	7,232	
1日平均	402	18日間開館

前年度

開館日	入館者数	
6月 1日	138	
8日	186	
15日	116	
22日	166	
29日	218	
7月 6日	551	
13日	591	
20日	346	
21日	673	
12月 7日	109	
14日	155	
1月11日	387	
15日	320	
18日	450	
25日	577	
2月 1日	294	
11日	328	
合 計	5,605	
1日平均	330	17日間開館

③ 入館者数

	中央図書館		所属	人数
平成10年4月	41,598	学部学生	経済学部	105,366
5月	49,257		経営学部	99,963
6月	64,588		法学部	130,324
7月	84,017		外国語学部	110,953
8月	3,726		理学部	32,428
9月	27,017		工学部	33,906
10月	57,489	大学院生		6,951
11月	45,987	聴講生		538
12月	48,106	卒業生		5,914
平成11年1月	84,659	教員		7,795
2月	19,991	職員		1,006
3月	9,512	その他		803
合計	535,947			
前年	526,661			

④ グループ学習室等利用件数

	グループ 学習室	研究個室		共同 利用室	対面 朗読室
		学生用	院生・教員		
平成10年4月	111	62	61	3	1
5月	287	122	96	1	4
6月	394	178	86	2	11
7月	1,133	262	96	15	16
8月	15	6	3	0	0
9月	74	68	34	3	0
10月	313	168	50	12	4
11月	215	128	65	6	3
12月	184	237	9	4	1
平成11年1月	289	325	35	10	13
2月	50	58	22	4	3
3月	9	45	27	3	1
合計	3,074	1,659	584	63	57
前年	2,583	1,399	702	1	0

(2) 貸出

① 貸出統計

	開架資料			論文 貸出	閉架 資料	館内貸出		合計 (冊数)	合計 (人数)
	普通	指定	資格			視聴覚	雑誌等		
1年生	16,230	259	406	0	184	3,299	157	20,535	13,099
2年生	20,437	286	690	2	143	2,446	199	24,203	14,802
3年生	28,735	661	1,628	16	227	1,338	288	32,893	19,048
4年生	36,096	816	1,713	1,021	376	1,696	371	42,089	21,926
学部学生	101,498	2,022	4,437	1,039	930	8,779	1,015	119,720	70,159
大学院生	2,505	72	52	0	1,824	68	15	4,536	2,117
教 員	5,017	3	8	1	4,050	90	41	9,210	3,119
職 員	2,318	0	17	0	347	61	31	2,775	1,263
卒 業 生	2,447	0	260	0	97	59	39	2,902	1,191
そ の 他	1,989	0	64	0	214	67	11	2,345	1,020
合 計	115,774	2,097	4,838	1,040	7,462	9,125	1,152	141,488	78,869
前 年	112,457	2,086	5,515	1,372	16,076	9,245	1,843	148,596	87,121

② 学部・主題別貸出冊数

	経済	経営	法	外国語	理	工	他	合計
総 記	183	222	451	272	36	33	295	1,492
哲 学	422	498	997	1,501	198	146	712	4,474
歴 史	1,673	1,215	3,047	4,809	251	305	1,312	12,612
社会科学	8,229	5,645	16,794	9,008	578	497	3,148	43,899
自然科学	685	611	1,046	913	6,666	4,895	1,286	16,102
工 学	1,363	1,816	1,140	987	548	1,877	601	8,332
産 業	1,501	2,039	637	665	48	304	315	5,509
芸 術	2,963	2,302	3,015	4,545	780	437	1,394	15,436
語 学	429	360	880	4,842	119	150	864	7,644
文 学	2,464	2,349	4,636	8,538	835	745	2,054	21,621
そ の 他	807	759	1,872	865	201	332	680	5,516
合 計	20,719	17,816	34,515	36,945	10,260	9,721	12,661	142,637
一人当り	6.5	5.3	10.3	14.1	11.4	13.8	26.1	9.7
前 年	22,437	18,235	35,729	39,162	12,244	9,792	10,997	148,596

③ 月別貸出冊数

	学生	院生	教員	職員	卒業生	その他	合計
平成10年4月	6,878	417	794	235	353	103	8,780
5月	8,481	405	1,028	299	340	126	10,679
6月	11,295	379	556	296	348	126	13,000
7月	15,828	386	770	358	55	532	17,929
8月	1,812	116	218	106	32	118	2,402
9月	8,986	313	428	176	203	202	10,308
10月	12,454	675	803	298	248	250	14,728
11月	11,976	585	888	291	274	299	14,313
12月	15,792	490	867	206	261	187	17,803
平成11年1月	19,757	421	653	159	241	169	21,400
2月	5,269	266	1,511	209	235	120	7,610
3月	1,192	83	694	142	312	113	2,536
合 計	119,720	4,536	9,210	2,775	2,902	2,345	141,488
前 年	127,883	3,866	9,016	3,201	3,699	931	148,596

④ B D S (Book Detection System)検出件数

	1年	2年	3年	4年	合計
経 済 学 部	21	13	10	13	57
経 営 学 部	21	15	18	15	69
法 学 部	32	21	21	16	90
外国語学部	31	16	14	27	88
理 学 部	8	7	3	3	21
工 学 部	4	5	7	9	25
合 計	117	77	73	83	350

⑤ 投書件数(内容／学部・学年別)

資料関係	14		1年	2年	3年	4年	院生	他	合計
施設・設備	10	経 済 学 部	0	0	0	0			0
制度関係	6	経 営 学 部	5	0	0	1			6
開館時間	3	法 学 部	2	4	0	3		2	11
館内を静粛	8	外国語学部	4	1	7	8		2	22
目録関係	7	理 学 部	2	3	0	1	4		10
日曜開館	2	工 学 部	0	0	0	1			1
そ の 他	13	そ の 他						13	13
合 計	63	合 計	13	8	7	14	4	17	63

(3) 視聴覚施設利用

① 月別(件数)

施設 年月	個 人 視聴覚室	グループ 視聴覚室	図 書 館 ホ ー ル	マイクロ リーダー	合 計	図書館ホール 利用人数
平成10年4月	985	119	41	8	1,153	1,057
5月	1,152	152	50	12	1,366	1,556
6月	1,577	201	1	16	1,804	1,089
7月	1,279	156	19	7	1,461	501
8月	188	10	3	0	201	249
9月	616	48	3	13	670	179
10月	1,440	201	27	8	1,685	993
11月	1,114	278	20	5	1,442	768
12月	952	124	16	20	1,097	940
平成11年1月	699	82	1	3	708	30
2月	331	21	8	8	348	360
3月	196	12	2	7	217	73
合 計	10,529	1,404	191	107	12,331	7,795
前 年	9,454	1,286	243	135	11,118	7,733

② 利用者別(件数)

施設 利用者	個 人 視聴覚室	グループ 視聴覚室	図 書 館 ホ ー ル	マイクロ リーダー	合 計	図書館ホール 利用人数
教 員	48	152	140	32	372	5,369
職 員	0	10	25	0	35	1,159
学 生	10,458	1,096	12	43	11,609	214
そ の 他	23	146	14	32	215	1,053
合 計	10,529	1,404	191	107	12,231	7,795

③ マイクロ資料印刷枚数

平成10年4月	230
5月	290
6月	145
7月	250
8月	0
9月	162
10月	120
11月	18
12月	115
平成11年1月	15
2月	119
3月	457
合 計	1,921
前 年	9,145

(4) 参考業務

① 月別参考業務件数

	文献調査	事項調査	利用指導	がたん	データベース 検索	CD-ROM 検索	合計
平成10年4月	137	66	15	35	123	160	582
5月	237	134	108	46	117	433	1,006
6月	232	113	71	49	107	587	1,104
7月	241	81	85	16	69	458	525
8月	59	20	13	0	27	80	142
9月	221	115	150	0	88	317	558
10月	243	94	278	4	98	604	761
11月	207	69	33	5	83	598	629
12月	142	60	57	0	120	708	681
平成11年1月	332	119	95	0	65	238	801
2月	41	27	0	0	55	247	211
3月	55	11	0	1	41	40	143
合 計	2,147	909	905	156	993	4,470	9,580
前 年	1,928	597	697	174	1,084	2,663	7,143

② 利用者別参考業務件数

	文献調査	事項調査	利用指導	がたん	データベース 検索	CD-ROM 検索	合計
教 員	491	207	36	3	271	1	1,009
職 員	77	62	9	0	106	0	254
学 生	1,157	630	860	153	612	4,465	7,877
学 外 者	422	10	0	0	4	4	440
合 計	2,147	909	905	156	993	4,470	9,580
前 年	1,928	597	697	174	1,084	2,663	7,143

③ ライブラリー・ガイダンス実施状況

A. 内容別

対象／内容	回数	受講者数	実施時期
新入生／図書館利用全般	71	2,136	4月～11月
演習・ゼミ受講生／文献の探し方	78	1,611	4月～11月
大学院生／学外データベース紹介	3	8	4月
留学生／図書館利用全般	1	6	3月
新任教員／図書館利用全般	3	4	4月
職員／図書館利用全般	0	0	8月・9月
合 計	156	3,765	
前 年	174	3,736	

B. 新入生学部別受講者数

	経済	経営	法	外国語	理	工	合計
受講者数	484	496	510	379	168	99	2,136
受講率	60%	62%	62%	63%	76%	63%	62%
前 年	464	313	415	525	80	104	1,901

C. ゼミ・大学院生受講者数

学年	経済	経営	法	外国語	理	工	合計
1	29	0	0	169	0	0	198
2	119	102	150	39	0	0	410
3	189	291	306	142	0	0	928
4	0	0	27	48	0	0	75
大学院	3	0	1	0	4	0	8
合 計	340	393	484	398	4	0	1,619
前 年	370	600	507	339	0	0	1,816

D. ゼミ・大学院生受講クラス数

学年	経済	経営	法	外国語	理	工	合計
1	1	0	0	4	0	0	5
2	5	4	8	3	0	0	20
3	11	13	14	10	0	0	48
4	0	0	1	3	0	0	4
大学院	1	0	2	0	1	0	4
合 計	18	17	25	20	1	0	81
前 年	17	24	24	19	0	0	84

(5) 相互利用

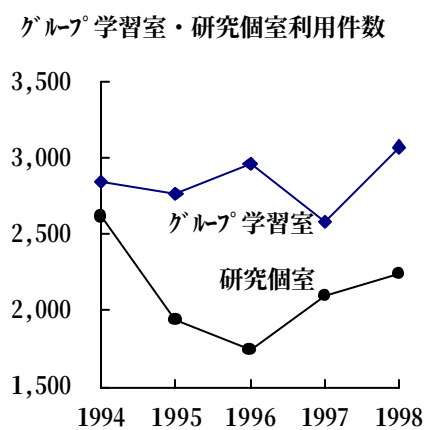
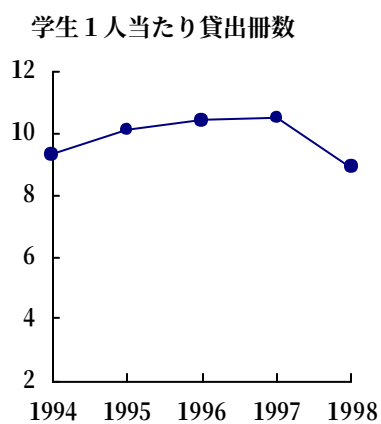
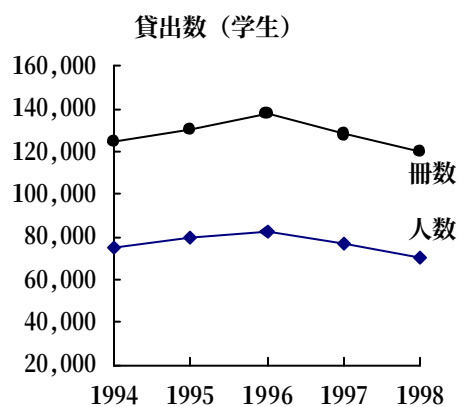
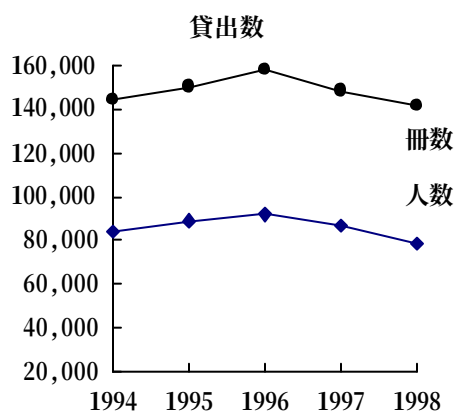
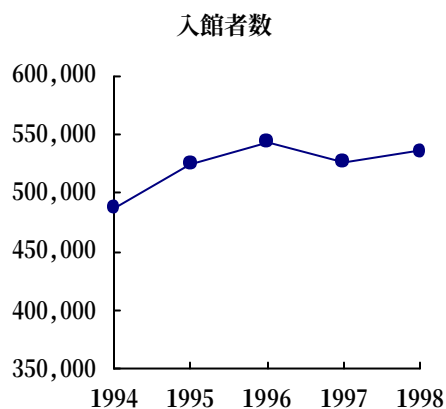
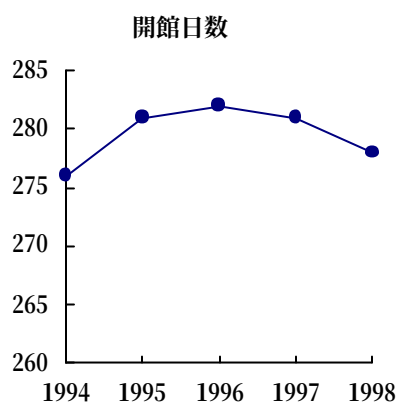
①学外相互利用件数

	国内											国外				
	閲覧		貸借				文献複写					貸借		文献複写		
			大学図書館		その他		大学図書館		来館	その他						
	受付	依頼	貸出	借受	貸出	借受	受付	依頼	受付	受付	依頼	貸出	借受	受付	依頼	
4月	9	4	24	24	0	0	145	216	5	10	7	0	8	0	9	
5月	17	13	43	38	1	1	161	137	6	8	5	0	6	0	15	
6月	26	12	36	18	3	1	194	119	12	8	8	0	5	0	7	
7月	22	15	35	40	0	2	151	104	12	12	2	0	7	0	9	
8月	7	9	9	6	0	0	62	59	2	16	2	0	4	0	2	
9月	17	7	45	41	2	0	180	138	8	7	5	0	13	0	11	
10月	16	14	42	38	2	5	209	111	8	8	4	0	11	0	7	
11月	28	15	45	16	7	1	162	187	15	7	5	0	7	0	7	
12月	21	22	35	27	0	2	155	147	13	19	12	0	4	0	7	
1月	18	11	21	20	4	0	143	90	9	9	2	0	2	0	9	
2月	11	16	27	27	1	1	138	79	8	9	1	0	3	0	9	
3月	9	3	32	20	1	1	117	108	8	20	1	0	4	0	12	
合計	201	141	394	315	21	14	1,817	1,495	106	133	54	0	74	0	104	
前年	172	161	296	309	5	18	1,705	1,189	106	156	60	0	65	0	103	

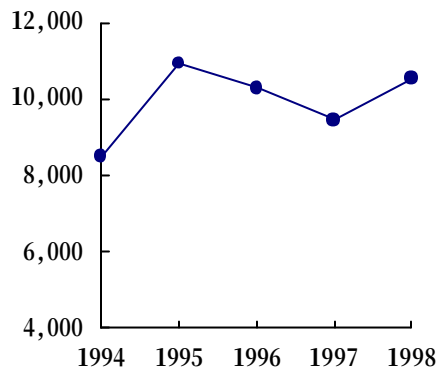
②学内配達サービス

年月	内訳	貸 出		文 献 複 写	
		件数	冊数	件数	枚数
平成10年 4月		24	120	5	85
5月		29	114	10	94
6月		26	97	4	51
7月		25	57	17	243
8月		3	5	2	11
9月		19	37	10	15
10月		40	118	8	99
11月		24	69	4	54
12月		12	67	22	215
平成11年 1月		18	38	15	166
2月		35	167	11	147
3月		27	81	7	22
合 計		282	970	115	1,202
前 年		228	709	25	304

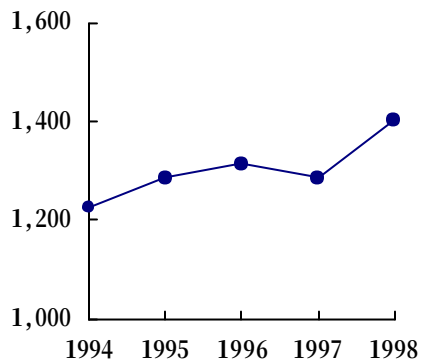
5. 図書館利用の推移



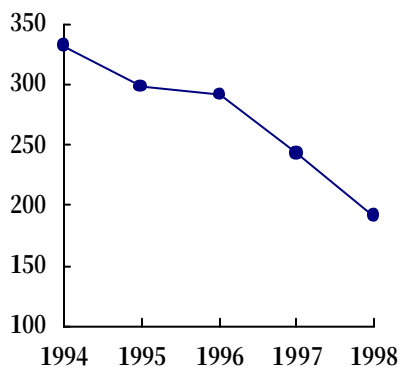
個人視聴覚室利用件数



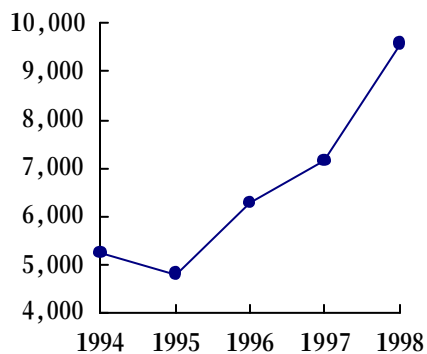
グループ視聴覚室利用件数



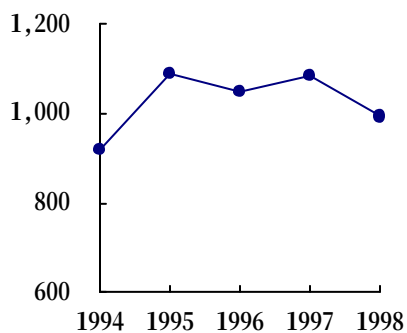
図書館ホール利用件数



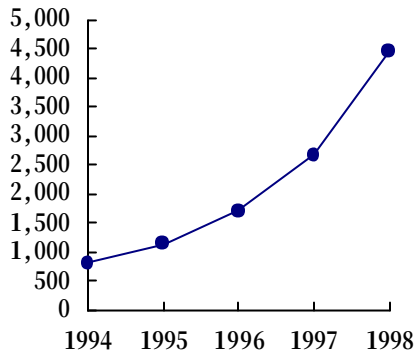
参考業務総数



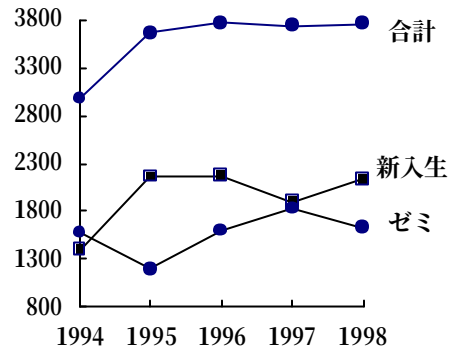
学外データベース検索件数



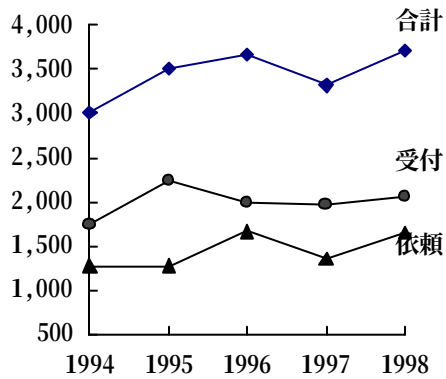
CD-ROM利用件数



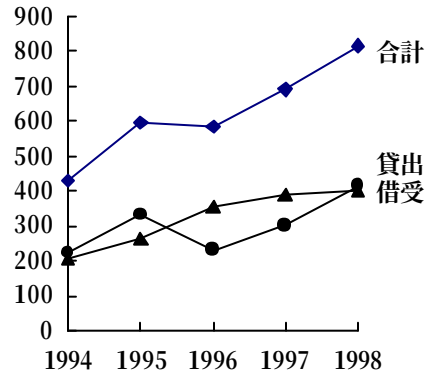
ライブラリーガイダンス受講者数



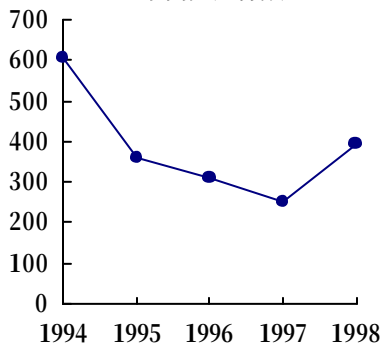
相互利用__①文献複写件数



相互利用__②図書貸借冊数



学内配達件数



VI 京都産業大学図書館利用規程

制 定
最近改正

昭和62年10月1日
平成11年 4月1日

第1章 総則

(目的)

第1条 この規程は、京都産業大学図書館規程第7条第2項に基づき、図書館の利用について必要な事項を定め、その円滑な運用を図ることを目的とする。

(開館日)

第2条 図書館は、次の休館日を除いて開館する。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
- (3) 本学創立記念日
- (4) 月末作業日
- (5) 夏期及び冬期休業の一定期間
- (6) 曝書及び資料の現物照合に必要な期間
- (7) その他図書館長(以下「館長」という。)が必要と認めた日

(開館時間)

第3条 図書館の開館時間は、次のとおりとする。

- (1) 平日 午前8時30分から午後8時まで
土曜日 午前8時30分から午後4時30分まで
- (2) 授業休業期間 午前8時45分から午後4時30分まで

2 館長が必要と認めたときは、前項の開館時間を変更することができる。

(利用者)

第4条 図書館を利用することができる者(以下「利用者」という。)は、次のとおりとする。

- (1) 教職員
- (2) 学生
- (3) 非常勤講師及び嘱託職員
- (4) 本学の名誉教授
- (5) 本学の卒業生
- (6) 単位互換履修生
- (7) 「京都産業大学カード」保持者
- (8) 図書館間相互利用協定等に基づく者及び館長の許可を受けた者

(利用カード)

第5条 前条に規定する利用者には、原則として利用カードを交付する。ただし、前条第1号及び第2号に規定する者の利用カードは、本学の身分証明書及び学生証をそれぞれこれにあてて。

2 利用カードは、入館及び利用上の諸手続に使用する。

(利用の範囲)

第6条 利用者は、閲覧、貸出及びその他の図書館サービスを受けることができる。

2 前項のサービス時間は、別表第1のとおりとする。

(図書館資料の区分)

第7条 図書館資料(以下「資料」という。)は、運用上、次の9種類に区分する。

- (1) 普通図書
- (2) 指定図書
- (3) 参考図書
- (4) 雑誌、新聞及びその他の逐次刊行物
- (5) 貴重図書及び準貴重図書
- (6) 特別コレクション(個人文庫を含む)
- (7) 視聴覚資料(地図を含む)
- (8) マイクロ資料
- (9) その他の資料

第2章 閲覧

(閲覧)

第8条 利用者は、資料を閲覧することができる。

2 書庫の資料の閲覧を希望する者は、所定の手続を行わなければならない。

(特別閲覧)

第9条 第7条第5号の資料の閲覧を希望する者は、館長の許可を受けなければならない。

2 前項の資料の閲覧は、特別閲覧室で行うものとする。

第3章 貸出

(貸出)

第10条 利用者は、資料の貸出を受けることができる。

2 利用者が貸出を受けることができる資料は、第7条第1号及び第2号の資料とする。
ただし、館長が必要と認めたときは、この限りではない。

3 資料の貸出を希望する者は、所定の手続を行わなければならない。

(冊数及び期限)

第11条 貸出の冊数及び期限は、別表第2のとおりとする。

2 館長が必要と認めたときは、前項の冊数及び期限を変更することができる。

(貸出の停止)

第 12 条 貸出資料の期限内返却を怠った者に対しては、超過日数に相当する期間の貸出を停止する。

(返却義務)

第 13 条 次の各号のいずれかに該当するときは、直ちに貸出資料を返却しなければならない。

- (1) 教職員が退職、休職又は6か月をこえる出張をするとき。
- (2) 学生が卒業、退学、除籍、休学又は留学するとき。
- (3) 前2号以外の利用者は、利用カードの有効期限が満了するとき。

第4章 複写

(複写)

第 14 条 利用者は、著作権関係法令の範囲内で、資料の複写サービスを受けることができる。

2 前項の複写を希望する者は、所定の手続を行わなければならない。

(制限)

第 15 条 次の各号のいずれかに該当するときは、複写を許可しない。

- (1) 資料の損傷が著しいとき。
- (2) 資料の複写により損傷するおそれがあるとき。
- (3) 図書館の複写能力を超えるととき。
- (4) その他館長が必要と認めたとき。

(料金)

第 16 条 複写を希望する者は、所定の複写料金を納付しなければならない。

(著作権上の責任)

第 17 条 当該資料の複写に関して生じる著作権上の問題については、依頼者が一切その責任を負うものとする。

第5章 レファレンス・サービス

(レファレンス・サービス)

第 18 条 利用者は、レファレンス・サービスを受けることができる。

2 レファレンス・サービスを希望する者は、所定の手続を行わなければならない。

(範囲)

第 19 条 レファレンス・サービスの範囲は、原則として次のとおりとする。

- (1) 図書館の利用案内及び指導
- (2) 資料の所在調査
- (3) 特定の主題・事項に関する調査及び参考文献の紹介
- (4) 類縁機関の紹介

第 6 章 情報検索

(情報検索)

第 20 条 利用者は、情報検索サービスを受けることができる。

- 2 情報検索を希望する者は、所定の手続を行わなければならない。

(端末機の操作)

第 21 条 端末機は、利用者との合意に基づいて、原則として係員が操作する。

- 2 前項による検索結果については、図書館は責任を負わないものとする。

(料金)

第 22 条 情報検索を希望する者は、回線使用料金及び検索料金等を納付しなければならない。

第 7 章 図書館間相互利用

(相互利用)

第 23 条 利用者は、他大学図書館等との協力による相互利用サービスを受けることができる。

- 2 他大学図書館等に対するサービスは、本学の利用者の研究及び教育に支障のない範囲で行う。
- 3 相互利用サービスを希望する者は、所定の手続を行わなければならない。

(利用協定)

第 24 条 相互利用サービスは、図書館が加盟する相互協力に関する協定等の定めるところにより、これを行う。

- 2 協定に加盟しない図書館等との相互利用サービスは、前項に準じて行う。

(範囲)

第 25 条 相互利用サービスの範囲は、次のとおりとする。

- (1) 資料の閲覧
- (2) 資料の複写
- (3) 資料の貸借
- (4) レファレンス・サービス

(料金)

第 26 条 相互利用サービスが有償のときは、その料金は、原則として利用者が負担するものとする。

第 8 章 図書館施設

(図書館施設)

第 27 条 図書館ホール等の諸施設の利用については、別に定める。

第 9 章 弁償

(弁償)

第 28 条 資料又は図書館の施設・設備等を亡失、汚損又は破損した者は、直ちに図書館に届け出るとともに、現物又は時価で弁償しなければならない。

附則

この規程は、昭和 62 年 10 月 1 日から施行する。

2 この規程の施行に伴い、京都産業大学図書館利用規程(昭和 43 年 10 月 15 日制定)は、廃止する。

附則

この規程は、平成元年 7 月 1 日から施行する。

附則

この規程は、平成 2 年 9 月 17 日から施行する。

附則

この規程は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。

附則

この規程は、平成 4 年 7 月 1 日から施行する。

附則

この規程は、平成 9 年 5 月 1 日から施行する。

附則

この規程は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。

別表第1 図書館のサービス時間

		授業期間	授業休業期間
閲覧	閲覧室の資料	平日 午前8時30分～午後8時 土曜日 午前8時30分～午後4時30分	午前8時45分～午後4時30分
	書庫の資料		
	貸出	平日 午前8時45分～午後8時 土曜日 午前8時45分～午後4時30分	
	複写		
レファレンス・サービス 情報検索 相互利用		平日 午前8時45分～午後4時30分 土曜日 午前8時45分～午前11時45分	

別表第2 貸出冊数及び期限

	普 通 貸 出	指定図書貸出	論 文 用 貸 出	長 期 貸 出
学 部 学 生 専 攻 科 生 聴 講 生 科 目 等 履 修 生 単 位 互 換 履 修 生 外 国 人 特 別 生 外国政府等派遣留学生 委 託 生	10冊 2週間	3冊 1週間	10冊 1か月 (別途手続が必要)	
大 学 院 生	10冊 2週間 (閲覧室の資料)			50冊6か月 (書庫の資料)
教員(客員教授含む) 客 員 研 究 員 等				200冊6か月 (書庫の資料)
名 誉 教 授 専 任 事 務 職 員 非 常 勤 講 師 研 修 員 等				50冊6か月 (書庫の資料)
嘱託職員(臨時職員を含む) 本 学 の 卒 業 生 京都産業大学カード保持者 館長の許可を受けたもの	10冊 2週間			
図書館間相互利用協定等に 基づく者	図書館間相互利用協定等に基づく冊数及び期限			

図書館職員名簿

平成11年3月31日現在

館長 溝部 英章(法学部教授)
次長 村橋 元雄

管理課

課長 小寺 源吾
課長補佐 石田 浩
庶務係長 大谷 健三
池田 恵子
受入係長 石倉 千鶴恵
木下 妙子
雑誌係長 長田 伸寛
桑名 美幸
嘱託職員 (受入係) 西村 明子
(雑誌係) 木村 町子

目録情報課

課長 赤瀬 美穂
(洋書係長事務取扱)
課長補佐 京極 宣夫
(和書係長事務取扱)
中上 ゆかり
森井 真由美
(洋書係) 久保 理恵
嘱託職員 (和書係) 田中 久子
(洋書係) 清水 千景

運用課

課長 大山 襄
庶務係長 池田 定男
閲覧係長 別所 博子
井上 智英子
近藤 正昭
武田 渉
山内 奈津子
視聴覚係長 小脇 茂昭
小倉 都子

情報サービス課

課長 横山 桂
課長補佐 宝田 育久
(情報処理係長事務取
(情報処理係) 天笠 洋一
課長補佐 澤熊 智美
(参考係長事務取扱)
近江 由紀子
相互利用係長 富崎 千賀子
嘱託職員(相互利用係) 浦松 ユメ子

京都産業大学図書館年報 1999（第18号）

発 行 京都産業大学図書館
〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
Tel. 075-705-1470(情報サービス課)

印 刷 アインズ株式会社
〒523-0894 滋賀県近江八幡市中村町49-12
Tel. 0748-32-1101(大代表)

発 行 日 平成11年7月30日